三菱DVDプレーヤー

形名

DJ-P270

取扱説明書

このたびは三菱DVDプレーヤーをお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用の前に、正しく安全にお使いいただくため、この「取扱説明書」を必ずお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」と共に大切に保管し、必要なときお読みください。
「保証書」は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。
製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と「保証書」の製造番号をお確かめください。

もくじ

はじめに　お使いになる前に、必ずお読みください

接続　接続のしかた

再生　再生のしかた

サーチ　希望するところから再生（サーチ）

再生中の切り換え　再生中に切り換える

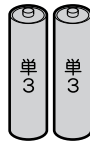
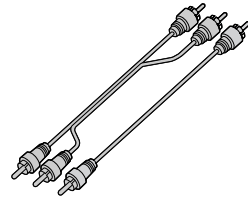
もくじ

設定をかえる　設定をかえる（セットアップ）

故障かな？　故障かな？と思ったときは

その他　追加説明

付属品が同梱されているかお確かめください。

リモコン

単3乾電池(2個)
(リモコン動作確認用)

映像・音声コード

ご使用になる前に、必ずお読みください

次のような場合は画像が乱れたり、再生が停止したり、再生が始まらないことがありますのでご注意ください。

1）ディスクが指紋などで汚れている。

→　ディスクを清掃してください。（➡8ページ）

2）ディスクにキズが付いている。

3）ディスクに紙やシールを貼っている。

4）本機で再生できないディスクが入っている。（➡11～12ページ）

安全にお使いいただくために

■ 誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

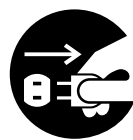
⚠警告　誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	⚠注意　誤った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

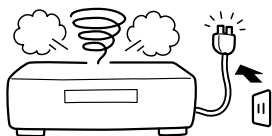
■ 図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください	絶対に分解・修理はしないでください	絶対に触れないでください
絶対に水にぬらさないでください	絶対にぬれた手で触れないでください	指のケガに注意してください
必ず指示にしたがい、行ってください	必ず電源プラグをコンセントから抜いてください	手をはさまないよう注意してください

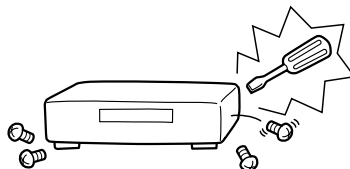
⚠警告

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

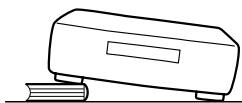
異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。

プラグを抜く

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!

使用禁止

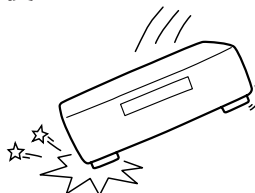
異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。

キャビネット(天板)をはずしたり、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。また、レーザー光が目に当ると、視力障害をおこす原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

不安定な場所には置かない

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがの原因となります。

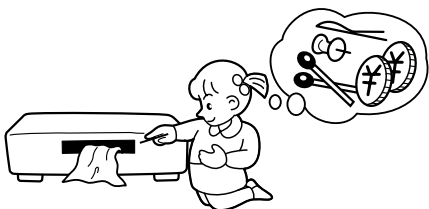
落としたり、キャビネット(天板)を破損した場合は使わない

使用禁止

火災や感電の原因となります。

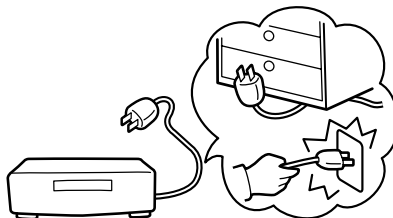
はじめに

安全にお使いいただくために

⚠警告

異物を入れない
（特にお子様にご注意を）

禁止

トレイ開閉口や通風孔から金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

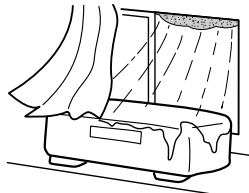
電源コードを傷つけない
● 重いものをのせない ● 引っ張らない
● ねじらない ● 無理に曲げない ● 加熱しない
● 加工しない ● 束ねない

禁止

コードが傷ついて、火災や感電の原因となります。
電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに販売店に修理をご依頼ください。

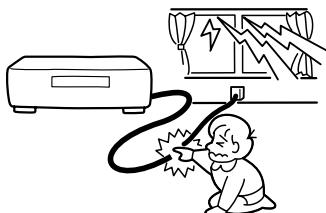
花びんやコップ、植木鉢などを上に置かない

水ぬれ禁止

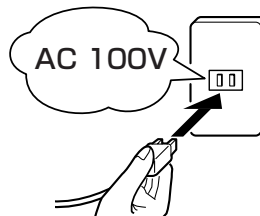
内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

水でぬらさない

水ぬれ禁止

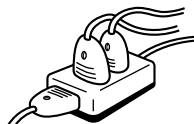
火災や感電の原因となります。
雨天、降雪中、海岸、水辺などの屋外や、窓辺での使用は、特にご注意ください。

雷が鳴りだしたら、電源コードには触れない

接触禁止

感電の原因となります。

電源は交流100Vを使う

交流100V

交流100V以外の電源で使用すると、火災や感電の原因となります。

タコ足配線をしない

禁止

火災の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

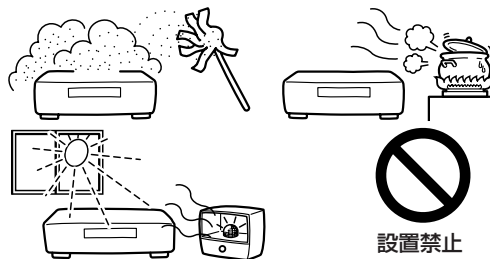
次ページに続きます。

安全にお使いいただくために

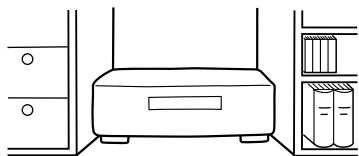
⚠注意

設置時は、次のような場所には置かない

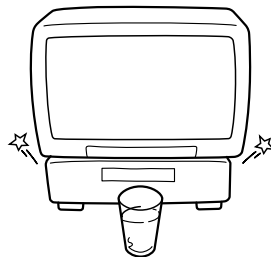
- 湿気やほこりの多い場所 ● 油煙や湯気が当たる場所
- 直射日光の当たる場所 ● 熱器具の近く
- 閉めきった自動車内など、高温になるところ

このような場所に置くと、ショートや発熱、電源コードの被覆が溶けるなどして、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

設置禁止

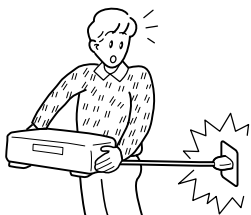
風通しの悪いところ、狭いところに置かない

- 押し入れや本棚などに押し込まない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない

禁止

内部に熱がこもり、火災や感電、故障、変形の原因となることがあります。

テレビなどの重いものを上に置かない 上にのらない(特にお子様にご注意を) トレイの前に物を置かない

禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがや故障の原因となることがあります。

接続したまま移動させない

禁止

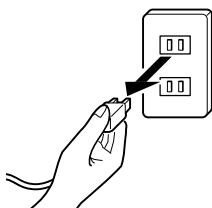
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。また、ディスクは取り出しておいてください。

トレイ開閉口から手を入れない (特にお子様にご注意を)

指のケガに注意

手はさみ注意

手がはさまれ、けがの原因となることがあります。万一、手をはさまれたときは、無理に引き抜かず、電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

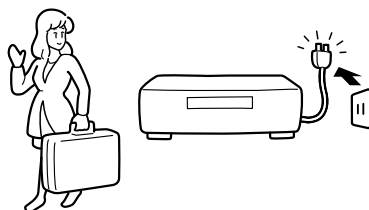
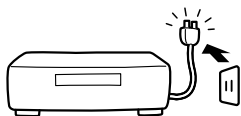
電源プラグを持って抜く

プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

長時間の外出や旅行のときは、電源プラグをコンセントから抜いておく

プラグを抜く

安全にお使いいただくために

⚠注意

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う

プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

3年に一度は、内部の清掃を販売店に依頼する

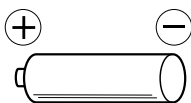
内部清掃

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、販売店にご相談ください。

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

禁止

飛び散ってけがの原因となることがあります。

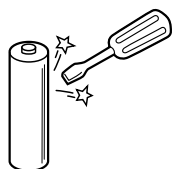
乾電池はプラス(+)とマイナス(–)の向きを正しく入れる

正しく入れる

間違えると、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。

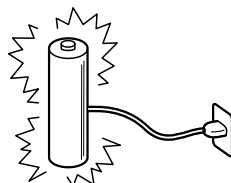
乾電池は指定以外のものを使わない
● 種類の異なるものを混ぜて使わない
● 新しいものと古いものを混ぜて使わない

禁止

指定以外のものを使うと、乾電池の破裂や液もれによって、火災やけが、周囲を汚す原因となることがあります。

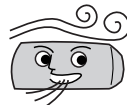
分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない

禁止

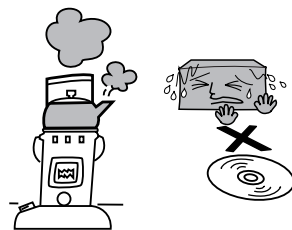
乾電池を充電しない 充電式の電池は使用しない

禁止

使用上のお願い

結露（つゆつき）について

■ **結露が発生した場合はディスクを本機に挿入しないでください。（本機を傷めてしまいます。）**
結露が発生しているときに、ディスクを本機に挿入されると、ディスク信号が読み取れず、本機が正常に動作しないことがあります。

■ **本機はよく乾燥した状態でお使いください。**
結露が発生した場合、電源プラグをコンセントへ差し込み、通電状態で**最低2時間は乾燥するまで**放置した上で本機をご使用ください。

■ **結露とは…**
暖房した部屋の窓ガラスに水滴がつくことがあります。これを「**結露**」(またはつゆつき)と呼びます。本機に結露が発生した場合は、本機内部のピックアップレンズやディスクに水滴が付きます。乾燥させないかぎり、本機はご使用になれません。

■ **次のようなときに結露になりやすいので、ご注意ください。**
- **本機を寒いところから暖かい部屋に移動したとき**
- **急に部屋を暖房したとき**
- **エアコンなどの冷風が直接当たるところ**
- **湿気の多いところ**

ディスクの取り扱い

■ 再生面(虹色に光っている面)に触れないようにディスクの端を持ってください。

■ 紙やシールなどを貼ったり、傷をつけたりしないでください。

■ 直射日光の当たる場所や熱器具のそばなど高温になる場所には置かないでください。(車のダッシュボードやリヤウインドウなどに放置しないでください。)

■ 使用後は、**所定のケースに入れて、保管してください。**ケースに入れずに重ねたり、ななめに立てかけて置くとソリの原因になります。

■ 指紋やホコリによるディスクの汚れは、音質や画質低下の原因となります。いつもきれいに清掃しておきましょう。

■ お手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸し、よくしぼってからふき、乾いた布で水気をふき取ってください。

■ ベンジン/レコードクリーナー/静電気防止剤などは、逆にディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

■ 新しいディスクを使用する場合は、ディスクの外周や中心の穴にギザギザが残っている場合があります。ギザギザが残っている状態で使用すると誤動作の原因となりますのでボールペンなどでこすり、ギザギザを取り除いてください。

■ 次のロゴマークが付いたディスクをご使用ください。詳しくは[➥ 11ページ]をご覧ください。

はじめに

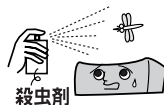
使用上のお願い

レーザーピックアップについて

■ この取扱説明書の該当部分と「故障かな？と思ったときは」をお読みになり、操作を行ってもプレーヤーが正常に動作しない場合は、レーザーピックアップが汚れている可能性があります。点検・清掃については、お買い上げの販売店にご相談ください。
■ 市販のレンズクリーニングディスクは、レンズを破損する恐れがあるため使用しないでください。

プレーヤーの置き場所や取り扱い

■ ほかの機器とあまり近づけると、機器がお互いに悪影響を与えることがあります。
■ 本機をテレビやビデオデッキと上下に重ねて置くと、映像や音声が乱れたりディスクがでないなどの故障の原因となることがあります。
■ 本機の近くで携帯電話やPHSを使用すると、映像や音声にノイズが入ることがありますので、本機からできるだけ離してご使用ください。
■ 強い磁気を持っているものを近づけると、映像や音声に悪影響を与えたり、記録が損なわれることがあります。
■ キャビネットに殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにすると、変質したり塗装がはげるなどの原因となります。

■ ご使用にならないときは、ディスクを取り出し電源を切ってください。
■ 長期間ご使用にならないときは、液もれを防ぐため、リモコンの乾電池を取り出しておいてください。
■ 本機を移動するときは、ディスクを取り出し、電源を切ってください。
■ 本機は日本国内専用です。放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。 (This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.)

お手入れについて

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってからふき取り、最後にかわいた布でからぶきしてください。中性洗剤をご使用の際は、その注意書をよくお読みください。

■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。
傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めにしたがって梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制にしたがって処分してください。

使用上のお願い

著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。
- この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の観賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビーおよびダブルD（DD）記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS、DTSデジタルアウトは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DVDロゴはDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の登録商標です。

MP3の再生機能について

本製品のMP3再生機能は、個人使用に限ってライセンスされており、営利目的で使用することはできません。

本機とプログレッシブ対応テレビの互換性について

本機のプログレッシブ出力(525p/480p)は、マクロビジョンコピーガード方式に対応しています。プログレッシブテレビによっては本機プログレッシブ出力に対応しておらず、映像に悪い影響が生じる可能性があります。プログレッシブ映像出力においてこのような問題が起きた場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で［D1/D2出力］を［インターレース］にし、本体表示部の“P.SCAN”を消灯させてください。[➡ 62〜64ページ]をご覧ください。

この取扱説明書の見かた

本文見出し下部や注意書き部分に下記のアイコンが記されています。それぞれの意味は次の通りです。

DVD-V DVDビデオディスク（ビデオモード）で楽しめる機能を表します。（本文ではDVDと表現します。）

CD 音楽用CDディスクで楽しめる機能を表します。

MP3 MP3ファイル形式で記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

WMA WMA(Windows Media Audio)が記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

JPEG JPEGが記録されたCD-RW/-Rで楽しめる機能を表します。

VR DVD-RW/-R VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクで楽しめる機能を表します。

ちょっと一言！

操作上、気を付けていただきたい情報を表します。

用語の説明や操作の補足説明を表します。

この取扱説明書では操作の説明をリモコン主体で行っています。

ディスクについて

再生できるディスク

本機では、下表のディスクを再生できます。

ディスクの種類	ディスクの内容	ディスク盤の大きさ
DVDビデオディスク リージョン番号 2 ALL 上記リージョン番号のついたNTSC方式のDVDビデオディスク	音声＋映像(動画)	12cm盤／8cm盤
DVD-RW/DVD-R※ 記録状態によっては再生できないディスクもあります〈CPRM対応〉	音声＋映像(動画)	12cm盤／8cm盤
音楽用CD	音声	12cm盤／8cm盤
CD-RW/CD-R※ 音楽CDフォーマット、MP3、WMA※※JPEG形式で記録されたディスク	音声（MP3、WMA） 静止画像（JPEG）	12cm盤／8cm盤

※ ファイナライズしていないディスクは再生できません。

※※WMAとは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。
Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- ディスクレーベル面に上記ロゴマークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用された場合には再生できない場合があります。また再生できた場合であっても、画質・音質の保証は致しかねます。
- ディスクの記録状態、傷、汚れやDVD再生機のピックアップの状態により再生ができない場合があります。
- Content Protection for Recordable Media
CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組に対してスクランブルをかけて録画する著作権保護システムです。

DVD-RW/-Rディスクの再生について

- DVD-RW/-Rディスクは、本機で再生する前に、記録したレコーダーでファイナライズを行ってください。
- ビデオモード、VRモード、ファイナライズなど、DVD-RW/-Rについて詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 本機では、DVD-R DL、VRモードで記録されたDVD-Rディスク（CPRM対応）も再生できますが、ディスクの記録状態によっては再生できない場合があります。
- +RW/+Rディスクは、DVDビデオ互換ディスクのみ再生できます。

この表示は、DVDレコーダーでVRモード（ビデオレコーディングフォーマット）記録されたDVD-RWディスクが再生できる機能を示しています。(CPRM対応)

■ 記録領域が少ないディスク（直径55mm以下）は再生できない場合があります。
■ コピーコントロールDVDなど、DVD規格に準拠していないディスクについては、再生状態を保証できません。特殊ディスク再生時のみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問合わせください。
■ DVD-RW/-R, CD-RW/-Rを再生するとき、ディスクの記録状態が記録用機器、ディスク自体の状態、ディスクとの相性によっては再生できないことがあります。
■ CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては、再生状態を保証できません。特殊ディスク再生時にのみ支障をきたす場合は、ディスクの発売元にお問い合わせください。
■ ディスクにラベルや紙などを貼りつけると、再生できない場合があります。

ちょっと一言！

DVDビデオディスク
- 本機は、NTSC方式に適合しています。PAL方式やSECAM方式で記録されたディスクは再生できません。
- DVDビデオには、リージョン番号（再生可能地域番号）が設けられています。
本機のリージョン番号（再生可能地域番号）は「2」です。
（リージョン番号が2以外でも「ALL」と表記されているディスクは、再生できます。）

次のディスクは再生できません。
- 特殊な形状のディスク(ハート形など)（故障の原因となります。）
- NTSC方式以外（PAL方式など）で記録されたディスク
- CD規格外の音楽用CD（コピーコントロール付きCDなど）
- 無許可のディスク（海賊版のディスクなど）
- DVD-RAM
- デュアルディスク（CD/DVD）

※ 8cmアダプター（音楽用CD用）は使わないでください。故障の原因となります。

ディスクについて

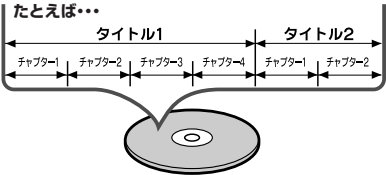
ディスク表示

DVDビデオソフトに記載されている表示をご確認のうえお楽しみください。

表示	機能説明
・リージョン番号（再生可能地域番号）を表しています。 2 ALL	・本機は、「リージョン番号」が「ALL」または「2」の含まれるDVDビデオディスクの再生が可能です。
・DVDビデオディスクに記録されている画面サイズを表しています。	・本機を接続するテレビの種類（ワイドテレビや4：3のテレビ）に応じた画面サイズが選べます。
4:3	・4：3の画面サイズで記録されています。
16:9 LB	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは上下に黒いバーつき（レターボックス）画像を楽しめるように記録されています。
16:9 PS	・ワイドテレビではワイド画像を、4：3のテレビでは左右をカットした4：3の画像を楽しめるように記録されています。
・字幕の種類を表しています。 例： 2 1：日本語 字幕 2：英語 字幕	・リモコンの[字幕]ボタンまたは、再生設定画面でお好みの字幕が選べます。
・DVDビデオディスクに記録されているカメラアングル数（前方からの撮影画像や後方からの撮影画像）を表しています。 例： 2	・リモコンの[アングル]ボタンまたは、再生設定画面でお好みのカメラアングルが選べます。
・音声トラック数や音声記録方式を表しています。 例： 5 音声1：オリジナル<英語>（5.1chサラウンド） 音声2：日本語（ドルビーサラウンド） 音声3：ドルビーデジタル（ステレオ） 音声4：リニアPCM音声 音声5：日本語（3/2.1chサラウンド/DTS）	・DVDビデオディスクに記録されている音声をリモコンの[音声]ボタンで切り換えることができます。

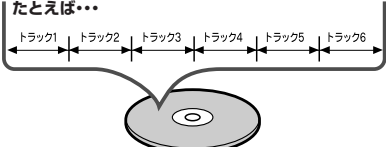
ディスクの構成

DVD

DVD VIDEO

■ DVDビデオディスクは、「タイトル」と「チャプター」に区切り構成されています。
●タイトルとは、例えば複数の映画が入っているDVDビデオディスクで各映画ごとをさします。
●チャプターとは、「タイトル」をさらに細かく分けたものです。

たとえば・・・
タイトル1 タイトル2
チャプター1 チャプター2 チャプター3 チャプター4 チャプター1 チャプター2

音楽用CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

■ 音楽用CDは、「トラック」に区切り構成されています。
●トラックとは、例えば複数の音楽が入っているCDで各曲ごとをさします。

たとえば・・・
トラック1 トラック2 トラック3 トラック4 トラック5 トラック6

CD-RW/-R (MP3/WMA/JPEGファイル形式)

■ CD-RW/-Rに記録されているMP3/WMA/JPEGのデータはグループとよばれる部分に分けられ、各グループはトラックとよばれる小さな部分に分けられています。MP3/WMA/JPEGデータ作成の際、グループやトラックは階層に分けて記録させることができます。（記録方法はMP3レコーダーなどの説明書をご覧ください。）本機では8階層まで認識することができます。

ちょっと一言！

● 音楽用CDディスクは、ディスクレーベル面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO マークの入ったものなど、JIS規格に合致したディスクをご使用ください。
CD規格外の音楽用CDディスク（コピーコントロールつきCDなど）で録音されたディスクは、全く再生できないか、再生できても正常に再生できないことがあります。
● DVD-RW/-RやCD-RW/-Rの場合は、記録状態、ディスクの特性、傷、汚れ、本機のピックアップの汚れ、結露などにより、再生できないことがあります。また、パソコンなどで作成したディスクは再生できないことがあります。

おもな特長

プログレッシブ [➥ 19ページ]
- 接続したテレビがプログレッシブ映像に対応しているとき、従来方式のインターレーススキャン方式より、ちらつきの少ない高密度の映像を楽しむことができます。

ドルビーデジタルサラウンド [➥ 21ページ]
- ドルビーラボラトリーズが開発した音声圧縮方式でマルチチャンネルサラウンドによる音の移動感や立体感を楽しむことができます。

DTS(デジタルシアターシステム) [➥ 21ページ]
- デジタルシアターシステムズ社が開発した、臨場感あふれる5.1チャンネルサラウンドシステムを楽しむことができます。

早送り、早戻し、一時停止、スキップ、コマ送り、スロー再生 [➥ 31、33～35ページ]
- 早送り、早戻し、一時停止、チャプターやトラックの頭出し（スキップ)、コマ送り、スロー再生などの再生や停止ができます。

プログラム再生(音楽用CD、MP3/WMA/JPEG) [➥ 29、38ページ]
- 本機は、トラックの順番をプログラムして、お好きな順番で再生することができます。

ランダム再生(音楽用CD、MP3/WMA/JPEG) [➥ 30、39ページ]
- 本機は、トラックの順番をランダムに変えて再生することができます。

再生速度を微調整する（スピーチコントロール） [➥ 51ページ]
- 早送り／遅送り再生時でも聞き取りやすい音声を出力する機能です。

DVDメニュー言語切り換え [➥ 59～61ページ]
- DVDに含まれているメニューが、多言語対応の場合、メニューに表示する言語が選択できます。

スクリーンセーバー機能
- 停止状態で約5分間の無操作で、スクリーンセーバーが起動します。

自動電源オフ機能
- 再生一時停止約30分間またはスクリーンセーバー起動後約25分間経過すると、電源が自動的に切れます。

希望する言語で字幕を表示 [➥ 48ページ]
- 希望する言語が、ディスクに記録されている場合には、字幕の表示にその言語を選ぶことができます。

カメラアングルの選択 [➥ 49ページ]
- 異なるアングルからの映像が、ディスクに記録されている場合には、希望するカメラアングルを選ぶことができます。

音声言語とサウンドモードの選択 [➥ 47、65～66ページ]
- 複数の音声チャンネルの言語とサウンドモードが、ディスクに記録されている場合には、好きな言語、またはサウンドモードを選ぶことができます。

視聴制限設定 [➥ 67～68ページ]
- 視聴レベルを設定して、子供の視聴が好ましくないディスクの再生を制限することができます。

ディスクの自動判別
- DVD、音楽用CDおよびMP3/WMA/JPEGを自動的に判別して再生します。

MP3/WMA/JPEG再生 [➥ 24～25ページ]
- CD-R、CD-RWに記録されたMP3/WMAやJPEGファイルを再生することができます。

バーチャルサラウンド [➥ 51～53ページ]
- バーチャル(疑似)サラウンドを楽しむことができます。

ディマー [➥ 17ページ]
- 本体表示部の表示を暗くしたり、消したりすることができます。

VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)ディスクの再生 [➥ 42ページ]
- VRモード(ビデオレコーディングフォーマット)で記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生することができます。

画面表示 [➥ 54～55ページ]
- 各時点で行っている操作情報を、テレビ画面上に表示します。また、リモコンを利用してテレビ画面上で、(プログラム再生などの)その時点に有効になっている機能を確認することができます。

サーチ [➥ 43～46ページ]
- チャプターサーチ： ユーザーが指定したチャプターをサーチすることができます。
- タイトルサーチ： ユーザーが指定したタイトルをサーチすることができます。
- タイムサーチ： ユーザーが指定した時間をサーチすることができます。
- トラックサーチ： ユーザーが指定したトラックをサーチすることができます。
- マーカーサーチ： ユーザーが指定した箇所をすばやくサーチすることができます。

リピート [➥ 36～37ページ]
- チャプター、タイトル、トラック：
  再生中のディスクのチャプター、タイトル、トラックを繰り返して再生することができます。
- オール（DVD-RW/-R(VRモード)音楽用CD、MP3、WMA、JPEG)：再生中のディスク全体を繰り返して再生することができます。
- A-B（DVD、音楽用CD）： ユーザーが指定したAからBまでの部分を繰り返して再生することができます。
- グループ： MP3/WMA/JPEGで再生中のグループを繰り返して再生することができます。

ズーム再生 [➥ 50ページ]
- 1.3倍、2倍または4倍に拡大した画面を表示させることができます。

つづき再生（リジューム機能） [➥ 32ページ]
- 再生をストップした位置から再生することができます。

黒レベル設定 [➥ 51～53ページ]
- 暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくできます。

ビットレート表示 [➥ 54ページ]
- ディスクの画像情報量を示します。

DRC [➥ 65ページ]
- 音量範囲をコントロールします。

ダウンサンプリング [➥ 66ページ]
- 96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換することができます。

画質調整 [➥ 51～53ページ]
- ガンマ調整、シャープネス、色のこさ、色あいを調整することができます。

各部のなまえとはたらき

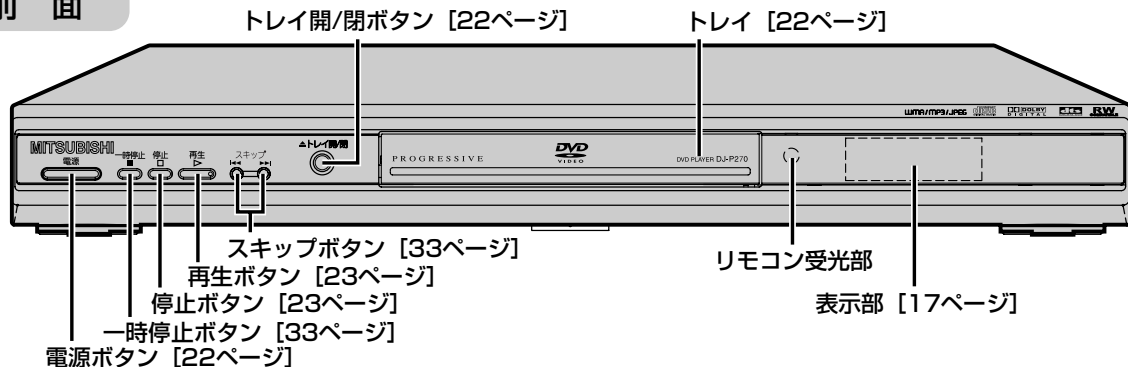
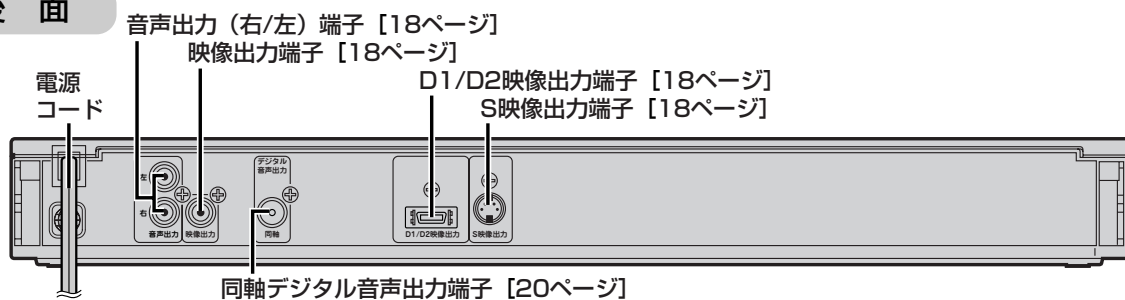
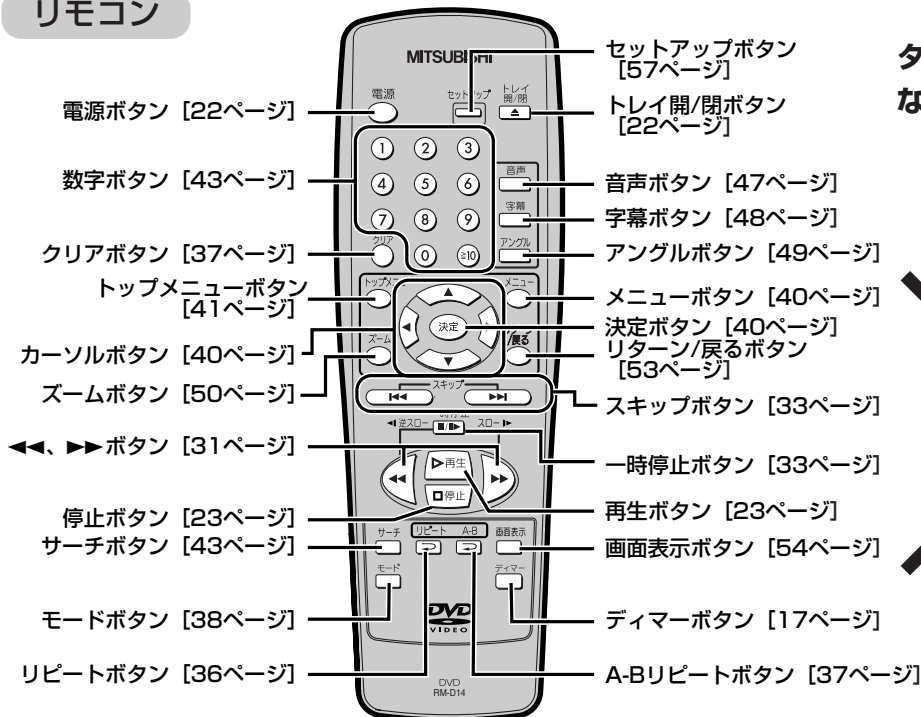
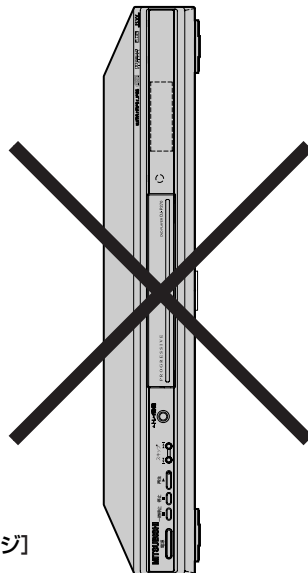
( ) 内の番号は、本文で説明しているおもなページです。
操作ボタンの機能については、15ページをご覧ください。

前　面

後　面

リモコン

電源ボタン［22ページ］
数字ボタン［43ページ］
クリアボタン［37ページ］
トップメニューボタン［41ページ］
カーソルボタン［40ページ］
ズームボタン［50ページ］
◀◀、▶▶ボタン［31ページ］
停止ボタン［23ページ］
サーチボタン［43ページ］
モードボタン［38ページ］
リピートボタン［36ページ］

セットアップボタン［57ページ］
トレイ開/閉ボタン［22ページ］
音声ボタン［47ページ］
字幕ボタン［48ページ］
アングルボタン［49ページ］
メニューボタン［40ページ］
決定ボタン［40ページ］
リターン/戻るボタン［53ページ］
スキップボタン［33ページ］
一時停止ボタン［33ページ］
再生ボタン［23ページ］
画面表示ボタン［54ページ］
ディマーボタン［17ページ］
A-Bリピートボタン［37ページ］

タテ置きではご使用にならないでください

各部のなまえとはたらき

■ 前面

	各部の名称	機能説明
あ	一時停止ボタン	再生の一時停止／コマ送りをする
さ	再生ボタン	ディスクの再生
	スキップボタン	チャプター／トラックの頭出し
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	電源ボタン	電源を「入」「切」にする
	トレイ	ディスクをセット
	トレイ開/閉ボタン	トレイの出し入れ

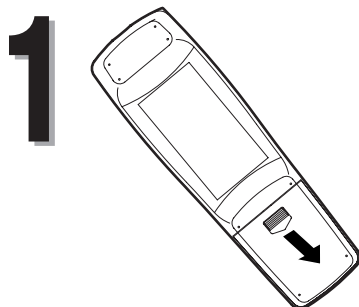
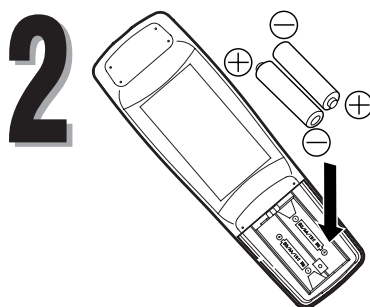
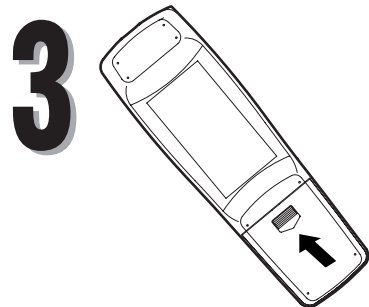
■ 後面

	各部の名称	機能説明
英字	D1/D2映像出力端子	D端子付きテレビとの接続
	S映像出力端子	S端子付きテレビとの接続
あ	映像出力端子	テレビとの接続
	音声出力（右/左）端子	アナログオーディオ機器やテレビとの接続
た	電源コード	プラグをAC100Vのコンセントに差し込む
	同軸デジタル音声出力端子	同軸デジタル音声入力端子付きアンプとの接続

■ リモコン

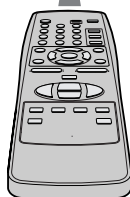
	各部の名称	機能説明
英字	A-Bリピートボタン	A点からB点を繰り返し再生
あ	アングルボタン	カメラアングル(角度)の切り換え
	一時停止ボタン	再生の一時停止／コマ送りをする
	音声ボタン	音声(言語)の切り換え
か	画面表示ボタン	ディスクの情報を画面に表示する
	カーソルボタン (4方向)	初期設定やプログラム再生、カーソルの移動や項目の切り換え
	クリアボタン	設定した内容を元に戻す
	決定ボタン	選択した項目を確定
さ	サーチボタン	お好みの位置の検索
	再生ボタン	ディスクの再生
	字幕ボタン	字幕(言語)の切り換え
	ズームボタン	DVDやJPEGの再生画像の一部を拡大
	数字ボタン	各設定、選択などに使う
	スキップボタン	チャプター／トラックの頭出し
	セットアップボタン	設定を変更するときに使う
た	停止ボタン	ディスクの再生を止める
	ディマーボタン	本体表示部の明るさの切り換え
	電源ボタン	電源を「入」「切」にする
	トップメニューボタン	DVDディスクの最上層のメニュー画面を表示する
	トレイ開/閉ボタン	トレイの出し入れ
ま	メニューボタン	DVDのディスクメニューまたはMP3/WMA/JPEGファイルリストを表示する
	モードボタン	• プログラム/ランダム再生画面に切り換える • スピーチコントロールの設定 • 画質モード選択　• 黒レベル設定　• バーチャルサラウンド設定
ら	リターン/戻るボタン	１つ前の設定画面に戻る
	リピートボタン	タイトル/チャプター、トラックの繰り返し再生
記号	◀◀、▶▶ボタン	早送り/早戻し、スロー再生をする

各部のなまえとはたらき

リモコン乾電池の入れかた

1
リモコン裏側の
フタをはずす

2
乾電池を入れる
●(+)(−)を確かめる
●(−)側を先に入れる

3
フタを付ける

リモコンの操作方法

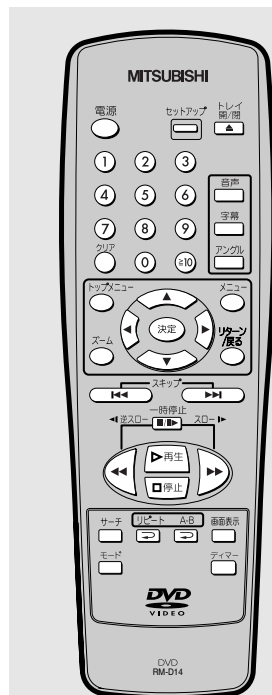
リモコン受光部にむけて
操作してください。

受信許容範囲
距離
　本体正面より約7メートル以内

ちょっと一言!
- リモコン操作ができる距離が短くなってきたら、乾電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。
  (※付属の乾電池は動作確認用です。)
- 長期間使用しないときは、リモコンから乾電池を取り出してください。
- リモコン受光部に直射日光や強い光を当てないようにしてください。誤動作の原因となります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池を一緒に入れないでください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を一緒に入れないでください。

本製品の機能操作について

本機はメニュー画面(図1)等にしたがい、各種機能を設定する操作になっています。
また、この操作はリモコンのボタン(図2)を使用し設定します。
※以下(22ページ以降)の説明においては、リモコン主体とした説明となります。

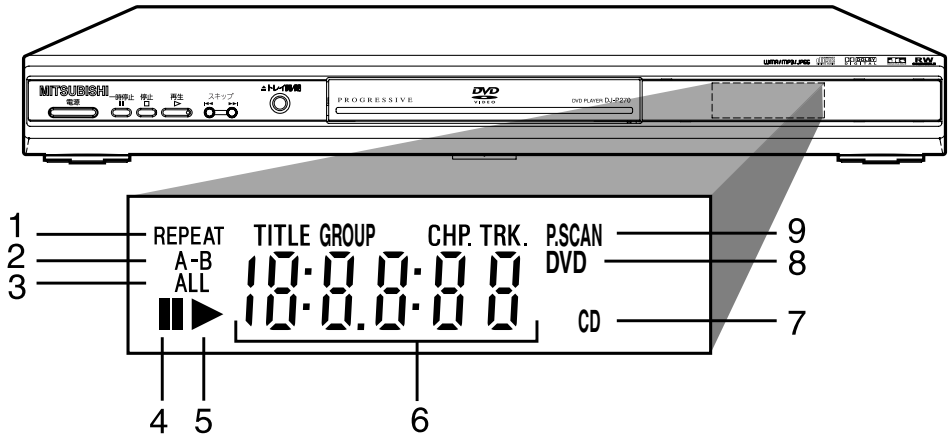
図1 メニュー画面(テレビ画面)

図2 リモコン 操作ボタン

各ボタンの名称と使用用途

使用用途	ボタン名称	リモコン
・ディスクのメニュー画面を呼び出す	メニュー	メニュー
・セットアップ画面を呼び出す	セットアップ	セットアップ
・選択項目の移動	カーソル	▲ ▼ ◀ ▶
・選択項目の確定	決定	決定
・1つ前の項目へ戻る	リターン/戻る	リターン/戻る
・プログラム画面などの切り換え	モード	モード

各部のなまえとはたらき

表示部について

本体前面

1. **リピート表示**
   リピート機能が選択されているときに点灯します。
2. **A-Bリピート表示**
   A-Bリピート機能が選択されているときに点灯します。
3. **オールリピート表示**
   オールリピート機能が選択されているときに点灯します。
4. **一時停止表示**
   入っているディスクが一時停止状態のときと、スロー再生中に点灯します。
5. **再生表示**
   入っているディスクが再生されているときと、スロー再生・早送り・早戻し中に点灯します。
6. **タイトル/グループ/チャプター/トラック/再生時間表示**
   現在再生されているディスクの経過時間を表示します。チャプターかトラックを切り換えると、新しいタイトル、グループ、チャプターまたはトラック番号が表示されます。
7. **CD表示**
   音楽用CDまたはMP3/WMA/JPEGディスクがトレイに入っているときに点灯します。
8. **DVD表示**
   DVDディスクがトレイに入っているときに点灯します。
9. **プログレッシブスキャン表示**
   D1/D2出力が“プログレッシブ”のときに点灯します。

本機の表示部は、リモコンの [ディマー] を押すと、明るさを3段階に変えることができます。

※電源を切ると、セットアップで設定されている状態に戻ります。

動作時のディスプレイ表示について

表示	説明	表示	説明
P-ON	電源を入れたとき	CLOSE	トレイを閉めたとき
-----	ディスクが入っていないとき	Load	ディスク読み込み中
OPEN	トレイを開けたとき	P-OFF	電源を切ったとき

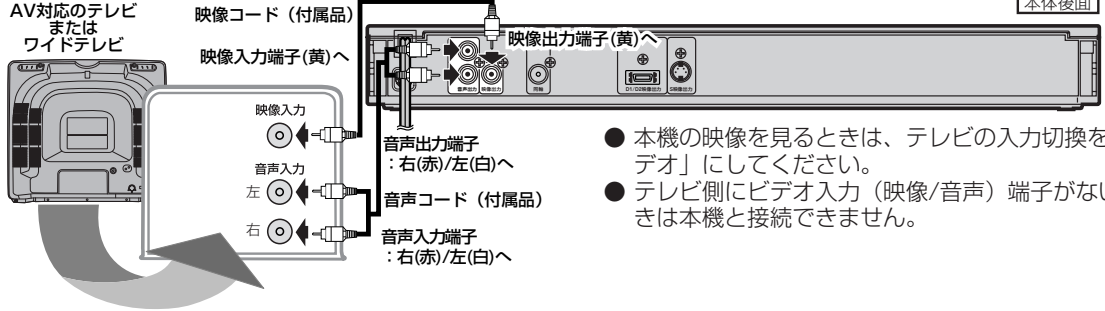
接続のしかた

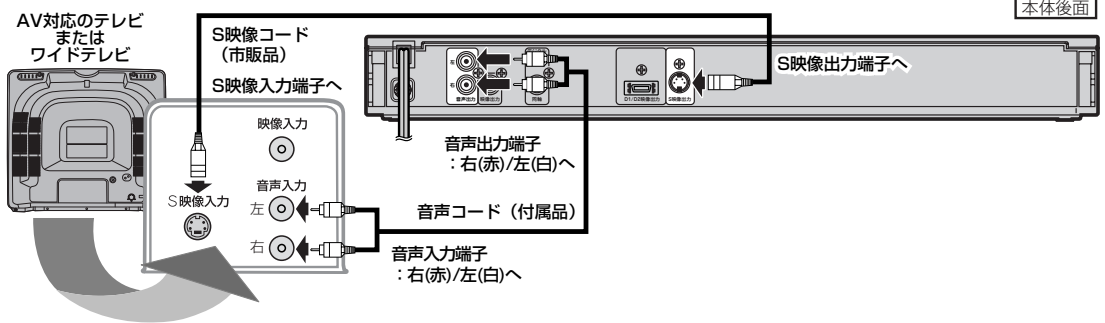
接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- テレビとの接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

テレビとの接続

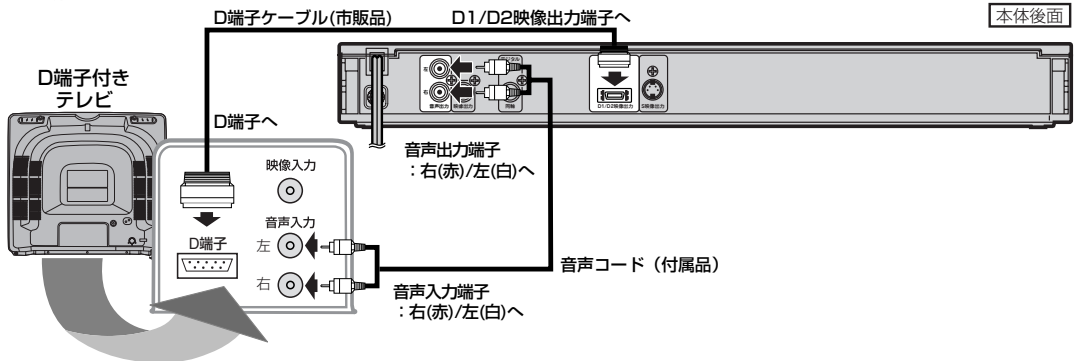
外部入力端子付テレビをお使いの場合

- 本機の映像を見るときは、テレビの入力切換を「ビデオ」にしてください。
- テレビ側にビデオ入力（映像/音声）端子がないときは本機と接続できません。

S映像入力端子付テレビをお使いの場合

黄色の映像コードで接続する代わりに市販のS映像コードを使用して接続します。
さらに鮮明な映像を楽しむことができます。

ちょっと一言！

- S映像コードをつなぐときは映像コードはつながないでください。両方つなぐと、テレビによっては映像が乱れることがあります。

D端子付テレビをお使いの場合

黄色の映像コードで接続する代わりに市販のD端子ケーブルを使用して接続します。
高品質な映像を楽しむことができます。

ちょっと一言！

- テレビのコンポーネント（色差）入力端子が$Y,C_B/P_B,C_R/P_R$のピンジャックタイプのときは、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D-ピンプラグ×3）をご使用ください。

コンポーネント映像入力端子(D端子)とは？

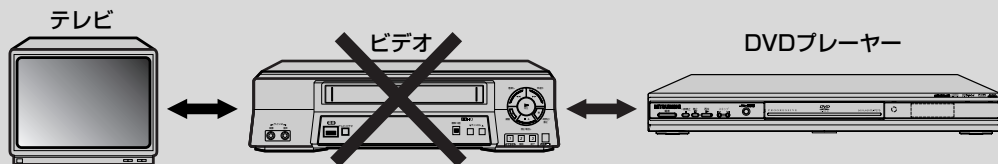
- コンポーネント映像入力端子(D端子)を備えたテレビやモニターとD端子ケーブル（市販品）を使って接続することで、さらに高品質の画像を楽しむことができます。
  D1/D2映像の信号に対応した入力端子を持つテレビにつなぐときは、D1/D2映像端子ケーブル（市販品）を使って、D1/D2映像入力端子につなぎます。ケーブル1本で、簡単にコンポーネント映像の接続ができ、より高画質な映像を楽しめます。
  詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

D1/D2出力の設定（お買い上げ時は“インターレース”）

- 接続するテレビに合わせて設定してください。
  プログレッシブスキャン方式（525p/480p）対応テレビを本機のD端子を使って接続し、「ディスプレイ」（映像設定）で［D1/D2出力］の設定を［プログレッシブ］にしてください。切り換えのしかたは[➡ 57〜58、62〜64ページ]をご覧ください。また、このときはテレビをプログレッシブモードに設定してください。
  ただし、D1のみの対応テレビ（プログレッシブスキャン方式対応でないテレビ）と本機のD端子を使って接続している場合は、［D1/D2出力］の設定を［インターレース］にしてください。
  ●テレビモニターの映像入力端子がBNCタイプの場合は、市販のアダプターを使用してください。

プログレッシブスキャン方式とは？

- プログレッシブスキャン方式では従来方式のインターレーススキャン方式に対して、よりちらつきの少ない高密度の画像をお楽しみいただけます。

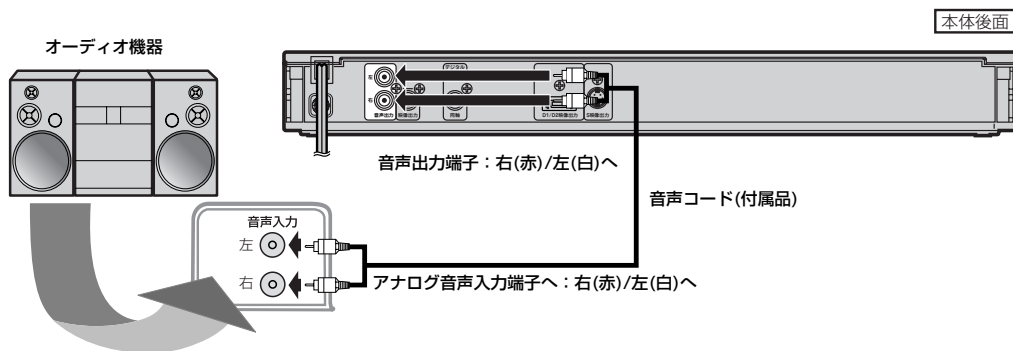
ちょっと一言！
- ワイドテレビ(16:9)に接続した場合は、本機の設定を変更する必要があります。[➡ 57～58、62~64ページ]
- 本機はテレビに直接接続してください。ビデオやビデオ内蔵テレビ経由でテレビに接続したり、録画してテープを再生するとコピープロテクションシステムにより、正常な再生画像にならない場合があります。

- 本機はハイビジョン対応のコンポーネント(Y, PB, PR)映像入力端子には対応しておりませんので、接続しないでください。（映像は映りません。）

アナログオーディオ機器との接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

接続

アナログオーディオ機器との接続

デジタル入力端子付きアンプとの接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

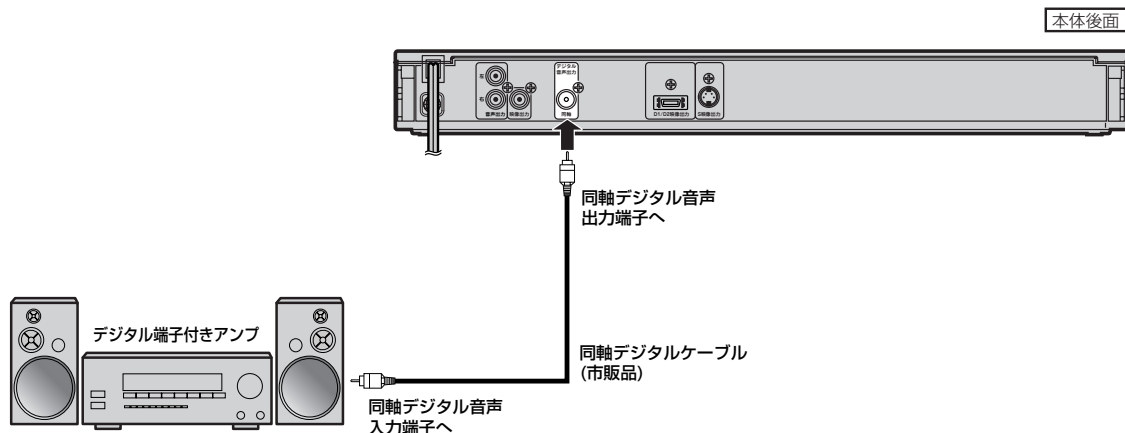
デジタル入力端子付きアンプとの接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

本体後面

同軸デジタル音声
出力端子へ

デジタル端子付きアンプ

同軸デジタルケーブル
（市販品）

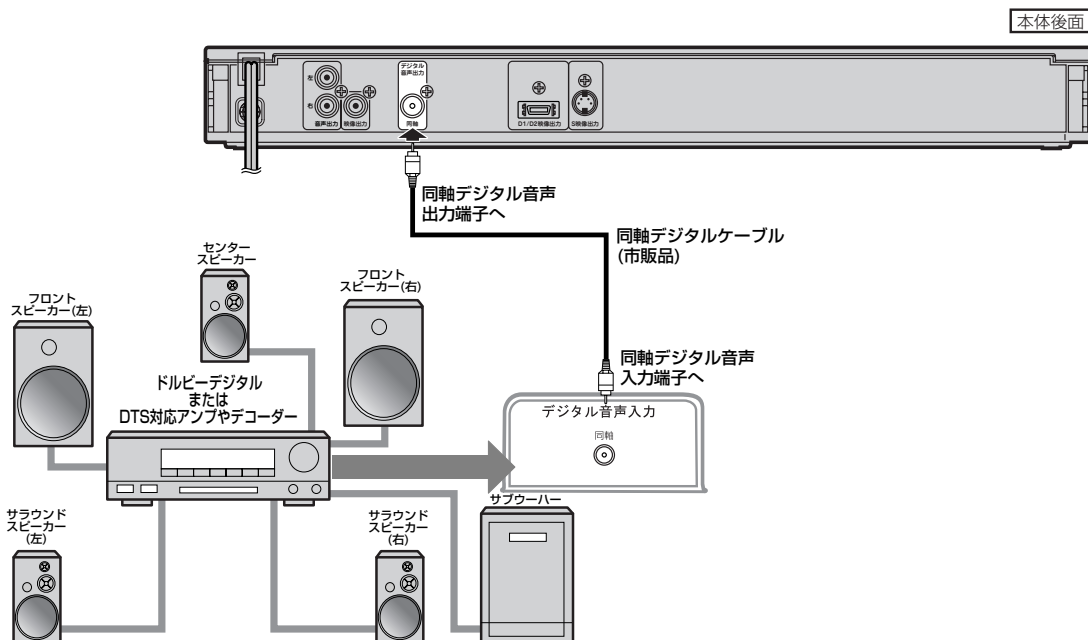
同軸デジタル音声
入力端子へ

ちょっと一言!

- 各音声モードに対応していないアンプをご使用の場合は、「オーディオ」（音声設定）の［ドルビーデジタル］を［PCM］、［DTS］を［オフ］にしてください。（お買い上げ時は［ドルビーデジタル］は［ビットストリーム］、［DTS］は［オフ］です。）正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がひずみ、スピーカーが壊れることがあります。［➡ 57 ～ 58、65～66ページ］
- ドルビーデジタル方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーとの接続

接続を始める前に…

- 本機の電源プラグをコンセントから抜いた状態で、各機器との接続を行ってください。
- 接続する機器の電源を必ず「切」にしてください。
- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。

ドルビーデジタルサラウンド、またはDTSデジタルサラウンドフォーマットのDVDディスクを再生するときには、ドルビーデジタルまたはDTS対応アンプやデコーダーに本機を接続することにより、大迫力の臨場感あふれるサラウンドサウンドをお楽しみいただけます。このオーディオ接続には、同軸デジタルケーブル（市販品）をご利用ください。

- ドルビーデジタル対応アンプやデコーダーに接続する場合には、「オーディオ」（音声設定）の[ドルビーデジタル]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 57 ～ 58、65～66ページ]
- DTS対応のアンプやデコーダーに接続する場合には、「オーディオ」（音声設定）の[DTS]を[ビットストリーム]にしてください。[➡ 57 ～ 58、65～66ページ]
- 各音声モードに対応していないアンプをご使用の場合は、「オーディオ」（音声設定）の［ドルビーデジタル］を［PCM］、［DTS］を［オフ］にしてください。（お買い上げ時は「ドルビーデジタル」は［ビットストリーム］、［DTS］は［オフ］です。）正しくない設定でDVDディスクを再生すると音がひずみ、スピーカーが壊れることがあります。[➡ 57 ～ 58、65～66ページ]
- DTS音声はアナログ出力端子からは出力されません。

DVD、音楽用CDの再生

- すべての接続が終わったら、電源プラグをコンセントにつなぎます。
- テレビ、アンプ、その他、このDVDプレーヤーに接続されているコンポーネントの電源をすべて入れます。（入力方式をこのDVDプレーヤーに適合するように切り換えたうえで、音声のボリュームが適正かどうか確かめてください。）
- ディスク回転中に電源プラグをコンセントから抜かないでください。
- 電源プラグを抜くときは、ディスクを取り出し、電源ボタンで電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

準備

- プレーヤーの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。

1 トレイ開/閉 を押してディスクトレイを開ける

OPEN

2 再生するディスクをトレイにのせる

- ラベル面を上にして、ディスクがトレイのくぼみに正しくセットされているか確認してください。

3 トレイ開/閉 を押してディスクトレイを閉める

ちょっと一言！

- ディスクを裏表逆に入れていると、ディスクに傷をつけたり、誤動作の原因となります。
- 電源「切」の状態でも、[トレイ開/閉]ボタンを押すと電源が入り、トレイが開きます。
- 2層ディスクの再生中に映像が一瞬止まることがあります。これはディスクの1層と2層が切り換わるために起こるもので、故障ではありません。ディスク付属の説明書も合わせてご覧ください。
- VRモードで録画されたDVD-RW/-Rでは、編集（タイトルの消去、録画の繰り返し）やプレイリスト作成の状態により、再生中に映像が止まることがあります。
- MP3/WMA/JPEGの再生に関しては［MP3/WMA/JPEGディスクの再生（ ➡ 24ページ〜）］をご覧ください。
- 音楽用CDを一番目の記録領域に、MP3/WMA/JPEGファイルを次の記録領域に記録したような種類の異なるマルチセッションディスクを再生した場合は、一番目の記録領域のみの再生となる場合があります。

4 ▷再生 を押す

- ディスクの最初のチャプター、またはトラックから再生が始まります。
- メニュー画面が記録されているDVDを再生すると、画面表示されたメニューを使って、再生することができます。 ➡ 40, 41ページの項をご覧ください。
- DVD-RW/-R（VRモード）記録のディスクはオリジナル、プレイリスト画面から直接お好みのタイトルを選んで再生することができます。

5 再生をやめるとき、 □停止 を押す

画面に下記の表示が出た場合は、 ➡ 69ページをご覧ください。

--ディスクを取り出してください。-- 対応していないディスクが入っているか、キズや汚れのため再生できません。	リージョンエラー --ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。	視聴制限エラー 現在の視聴制限設定では再生が制限されています。

- ディスクによっては自動的に再生が始まるものがあります。
- [再生]ボタンを押したあと、映像や音声がでるまでに時間がかかることがありますが、このプレーヤーの故障ではありません。
- 本機の動作中にテレビ画面の右上隅に禁止アイコン(⊘)が表示されることがあります。これは、禁止されている操作がDVDプレーヤーかディスクに対して行われていることを警告するためのものです。
- ディスクに汚れや傷があると、画像がゆがんで見えたり、再生が停止したりすることがあります。このような場合には、ディスクを清掃して電源プラグをコンセントからいったん抜き取り、電源プラグをコンセントに差し込みなおしてから再生を再開してください。
- 再生プログラム信号が備わっているDVDディスクの場合は、2番目のタイトルから再生が始まったり、タイトルを飛ばして再生をすることがあります。
- ディスクを取り出すときは［トレイ開/閉］ボタンを押してください。また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。
- 映像や音声が出力されるまでに時間がかかることがありますが、故障ではありません。
- 携帯電話をご使用になる時はテレビやDVDに近づけないでください。
  音声に異音が入ったり、テレビにノイズがでたりする場合があります。
  異音がでたり、テレビにノイズがでたりした場合には、携帯電話を離してご使用ください。

MP3／WMA／JPEGディスクの再生

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。

1 MP3/WMA/JPEGファイルの混在するディスク、またはそれぞれのファイルのみが記録されたディスクを挿入する

- ディスクを挿入すると、下図が画面上に表示されます。

- 自動的にファイルリスト画面が表示されます。

- グループ（フォルダ）名の先頭には "回" が表示されます。
- MP3トラック名の先頭には "♪" が表示されます。
- WMAトラック名の先頭には "♪" が表示されます。
- JPEGトラック名の先頭には "☺" が表示されます。
- 画面内にすべて表示されない場合は、次のページを示す "▽" が表示されます。前のページがある場合には "△" が表示されます。 "▽" の右側には現在のページ番号と総ページ番号が表示されます。
- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- グループの中にMP3/WMA/JPEGトラックが見つからない場合、そのグループは表示されません。
- カーソルボタン[◀]を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。
- 再生中または停止中に［メニュー］ボタンを押すと、ファイルリスト画面が表示されます。

ちょっと一言！

- 「オーディオ」（音声設定）のデュアル再生設定項目については、 ➡ 65～66ページを参照してください。
- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- ファイルリストの最初の画面を表示するには、ファイルリスト画面表示中に[トップメニュー]ボタンを押します。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- 固定ビットレート32kbps以上で記録されたMP3ファイル、48kbps以上で記録されたWMAファイルを推奨します。
- ファイルリスト画面を表示していない状態で再生しているときに数字ボタンでファイル番号を入力すると、そのファイルのダイレクト再生を始めることができます。
- ファイルリスト画面表示中はダイレクト再生ができません。
- 希望するタイムカウントからの再生はできません。
- プログレッシブJPEG画像は再生できません。
- JPEGファイルの容量が大きいと、画面表示に時間がかかることがあります。

2

▲／▼で再生したいグループまたはトラックを選択し、▷再生 または 決定 を押す

トラックを選択した場合
選択したトラックから順に再生が始まります。

グループを選択した場合
カーソルボタン[▶]または[決定]ボタンを押し、次にカーソルボタン[▲/▼]でそのグループ内の再生したいトラックを選択し、[再生]ボタンまたは[決定]ボタンを押すと再生が始まります。

- [トップメニュー]ボタンを押すと1番上の階層に戻ります。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- JPEG画像が表示されている間は、[アングル]ボタンを押すごとに時計まわりに、90度ずつ画像を回転して見ることができます。

3

「オーディオ」（音声設定）の[デュアル再生]を[オン]にしている場合

- MP3ファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのMP3ファイルが再生されます。
- JPEGファイルが選択された場合、選択されたトラックから再生が始まります。再生が終わると、次のトラックのJPEGファイルが再生されます。

画像と音楽を同時に楽しむには…

- 再生中に、[メニュー]ボタンを押すと、ファイルリストが表示されます。
- MP3ファイルを再生中に、ファイルリストからJPEGファイルを選択すると、同時再生が始まります。
- JPEGファイルを再生中に、ファイルリストからMP3ファイルを選択すると、同時再生が始まります。

「オーディオ」（音声設定）の[デュアル再生]を[オフ]にしている場合

- MP3ファイルとJPEGファイルは同時に再生されません。この場合、記録されたトラック順に再生されます。

4

再生を停止するときは ◻停止 を押す

- ディスクを取り出すときは、[トレイ開/閉] ボタンを押してください。また、本機の電源を切る前にディスクを取り出してください。

ちょっと一言!

- デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が5,000KB以下、画像の大きさが縦×横 5,000×5,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
- WMAファイルとJPEGファイルを同時に再生することはできません。同時再生中にファイルリストからWMAファイルを選択すると、WMAファイルのみの再生となります。
- デュアル再生は、すべてのファイル構成の組み合わせを保証するものではありません。

MP3／WMA／JPEGファイル形式について

MP3、WMA、JPEG形式で記録されたCD-ROMやCD-R、CD-RWディスクを再生することができます。

MP3/WMA/JPEGディスクについて

- 「.mp3(MP3)」という拡張子の付いたファイルを「MP3ファイル」と呼びます。
- 「.wma(WMA)」という拡張子が付いたファイルを「WMAファイル」と呼びます。
- ディスクに記録されたMP3ファイル、WMAファイル、JPEGファイルはトラックとよばれ、右図のようにグループと呼ばれるフォルダに分類されます。
- 「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」という拡張子の付いたファイルを「JPEGファイル」と呼びます。
  （Exif*規格に準拠した画像ファイルを再生することができます。）
  *JEIDA(日本電子工業振興協会<Japanese Electronic Industry Development Association>)が制定したファイル形式です。
- 拡張子が「.mp3(MP3)」、「.wma(WMA)」、「.jpg(JPG)」と「.jpeg(JPEG)」以外のファイルはMP3、WMAまたはJPEGメニューのリストには表示されません。
- 拡張子「.mp3(MP3)」、「.wma(WMA)」、「.jpg(JPG)」または「.jpeg(JPEG)」が付いたファイルでも、MP3、WMA、JPEG形式で記録されていないものを再生するとノイズが出ることがあります。
- 対応しているCD-RW/-Rディスクのフォーマットは、ISO9660 Level1/Level2 Joliet方式です。

再生可能MP3ファイル	
サンプリング周波数	44.1kHzまたは48kHz
ビットレート	32kbps〜320kbps
タイプ	MPEG1 オーディオレイヤー3
フォーマット	ISO9660 Level1/Level2 Joliet方式

再生可能WMAファイル	
サンプリング周波数	44.1kHz 48kHz
ビットレート	48〜192kbps
タイプ	WMA バージョン9

再生可能JPEGファイル		
画像サイズ	JPEG再生時 7MB以下	最大:6,300×5,100ピクセル 最小:32×32ピクセル
	デュアル再生時 5MB以下	最大:5,000×5,000ピクセル 最小:32×32ピクセル

- 255グループ、999トラックまで認識できます。
- グループ（フォルダ）構成によっては、255グループ、または999トラックまで表示しない場合があります。
- 9階層以降の階層は再生できません。
- 画面に入りきらないJPEG画像は、縮小して表示します。
- プログレッシブ形式のJPEGファイルは再生できません。

ちょっと一言!

- グループ名／トラック名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他の認識されない文字は＊（アスタリスク）で表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては＊で表示される場合があります。
- 記録したときの条件によっては、リスト表示されているトラックでも再生できないことがあります。
- デュアル再生用のディスクを作成する場合は、JPEGファイルの容量が5,000KB以下、画像の大きさが縦×横 5,000×5,000ピクセル以下のファイルを使用してください。この数値を超えるJPEGファイルは、再生できないことがあります。
- 「ディスプレイ」（映像設定）の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

スライドショーモード

再生中にスライドショーモードを切り換えることができます。スライドを見るように、画像を順番に表示します。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。

1 再生中に[JPG]が表示されるまで モード を繰り返し押す

- スライドショーモード画面が表示されます。
- スライドを見るように画面を順番に表示します。
- 停止中、またはファイルリスト画面からスライドショーモードを切り換えることはできません。

2 決定 を押す

- スライドショーモードが切り換わります。

– カット イン／アウトモード：
　完全な画像を順次表示していきます。
– フェード イン／アウトモード：
　次の画像に移るときに、徐々に表示していきます。

- JPEGファイルの[スライドショー]において画面が切り換わる時間を変えることができます。
  [➡ 62～64ページ]
- 「ディスプレイ」（映像設定）の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。
- プログレッシブJPEG画像は再生できません。
- 次の画像や前の画像が見たい場合は、カーソルボタン◀ / ▶を押してください。
- トレイを開閉しても、スライドショーモードの設定は保持します。

JPEGファイルの画像サイズを調整する

接続するテレビによっては表示されるJPEGファイルの端が切れる場合があります。このような場合には、画像を少し小さくして表示します。

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。

1 再生中に[ ]が表示されるまで モード を繰り返し押す

- 画像サイズ設定画面が表示されます。
- 停止中、またはファイルリスト画面から画面サイズ設定画面を表示することはできません。

2 決定 または ◀/▶ で設定を切り換える

ーノーマル：100%の画面サイズで表示します。
ースモール：95%の画面サイズで表示します。

- 画像サイズを[スモール]に設定しても、効果のあらわれない画像があります。
〈例〉画像サイズの小さなファイルなど
- トレイを開閉しても、画像サイズの設定は保持します。

MP3／WMA／JPEGディスクをプログラム順に再生する

準備

- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。
- [デュアル再生]を[オン]にしている場合、プログラム再生はできません。[➡ 65〜66ページ]

1 MP3／WMA／JPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にプログラム画面が表示されるまで [モード] を繰り返し押す

- プログラム画面が表示されます。

2 [▲] / [▼] でグループを選択し、[決定] を押す

- リスト画面が表示されます。

3 [▲] / [▼] でトラックを選択し、[決定] を押す

- プログラムが入力されます。
- プログラム入力されたトラックは右画面に表示されます。またこのとき、8トラック以上が入力され、画面内に表示しきれない場合は、次のページを示す "▷▷|"（|◁◁）が表示され、スキップボタン[▶▶| / |◀◀]で入力したトラックの確認ができます。
- 画面内にすべて表示しきれない場合は次のページを示す " ▽ " が表示されます。
- カーソルボタン[◀]を押すと現在選択しているフォルダの1階層上のフォルダを一覧表示します。

4 プログラム入力を完了し、[▷再生] を押す

- プログラム再生が始まります。

ちょっと一言!

- [クリア]ボタンを押すと最後に入力したプログラムを取り消すことができます。
- すべてのプログラムを消すには、手順3でリストの1番下の[オールクリア]を選択します。
- [リターン]ボタンを押すとプログラムの内容を記憶した状態で停止画面になります。
- プログラム再生を止めるには、[停止]ボタンを2回押します。設定していたプログラム再生を始めるには、[モード]ボタンを押してから[再生]ボタンを押します。
- 電源を切る、またはディスクトレイを開けるとプログラム設定は解除されます。
- 最大プログラム数は99トラックまでです。

MP3／WMA／JPEGディスクをランダムに再生する

準備
- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。
- [デュアル再生]を[オン]にしている場合、ランダム再生はできません。[➡ 65～66ページ]

1 MP3／WMAまたはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中にランダム画面が表示されるまで [モード] を繰り返し押す

ちょっと一言！
- ランダム再生中に[停止]ボタンを押すと、ランダム再生は解除されます。
- MP3ファイル、WMAファイルとJPEGファイルが混在して記録されているディスクは、すべてのファイルのランダム再生を行います。
- ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

2 [▷再生] を押す

- ランダム再生が始まります。

MP3／JPEGディスクをフォルダごとに再生する（フォルダ再生）

準備
- 本機とテレビの電源を入れ、テレビの入力切換を外部入力（ビデオ）にします。
- [デュアル再生]を[オン]にしてください。[➡ 65～66ページ]
- [デュアル再生]を[オフ]にしている場合は、フォルダ再生できません。[➡ 65～66ページ]

1 MP3またはJPEGファイルが記録されたディスクを挿入し、停止中に [モード] を押す

- フォルダリスト画面が表示されます。
- フォルダがない場合は“オール”だけが表示されます。

フォルダ再生中、[停止]ボタンは次のように作動します。
- [停止]ボタンを1回押した場合、一旦停止となります。再び[再生]ボタンを押すと、停止されていた位置から、フォルダ再生を続けることができます。
- [停止]ボタンを2回押した場合、フォルダ再生は解除されます。

2 [▲] / [▼] でフォルダを選択し、[決定] を押す

- 選択されたフォルダ内のMP3ファイルとJPEGファイルが同時に再生されます。

ちょっと一言！
- フォルダ再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。
- 一つのフォルダ内に、MP3/JPEGファイルが混在しているディスクを再生する場合、フォルダ再生実行中にリモコンおよび本体のスキップボタン［|◀◀, ▶▶|］を押しても、MP3のスキップしかできません。
- MP3/JPEGファイル混在のディスクを再生し、最終JPEGファイルを再生した場合、画面がブルーバックになりますが、［モード］ボタンを押すと、フォルダリスト画面に戻ります。
- MP3、JPEGファイルが混在するフォルダではWMAは再生されません。

早送り／早戻しをする

再生中に ▶▶ または ◀◀ を押す

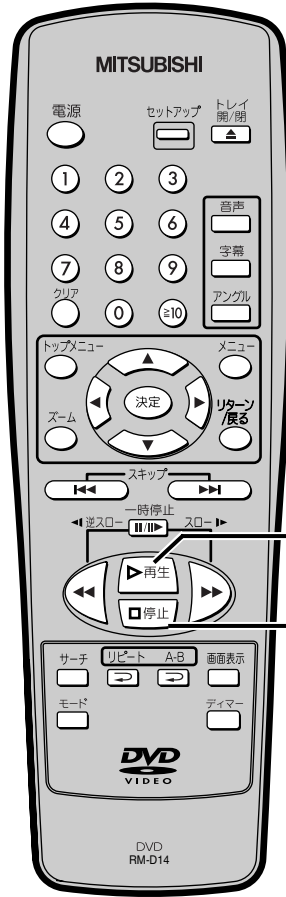
- DVDの場合はボタンを押すたびに1（×2）、2（×8）、3（×20）、4（×50）、5（×100）の5段階に再生速度が変わります。

- 音楽用CD、MP3、WMAの場合は、ボタンを押すたびに1（×2）、2（×8）、3（×30）の3段階に再生速度が変わります。
- 再生速度の倍速は通常再生を1としたときの目安です。実際の速度ではありません。

▷再生 を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言！

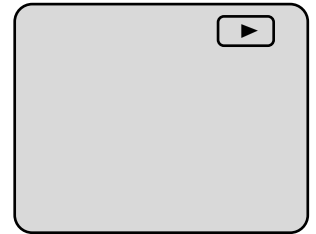
- タイトルまたはトラック(MP3、WMA)をまたぐ早送り/早戻しはできません。
- DVDでの早送り/早戻し中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 62～64ページ]

つづきから再生する（リジューム機能）

1 再生中に ［□停止］ を押す

●再生が停止し、次いで画面中央に「再開メッセージ」が表示されます。

<例：DVD、音楽用CDの場合>

2 ［▷再生］ を押す

●停止した位置から、つづけて再生されます。

ちょっと一言！

- [停止]ボタンを2回押すか、ディスクトレイを開くと、リジューム機能の情報は解除されます。
- 電源を切っても、リジューム機能の情報は消えません。
- MP3/WMA/JPEG再生時にこの操作を行うと、停止したトラックの先頭から再生を始めます。

再生を一時停止する（一時停止）

ちょっと一言！
- DVDで一時停止中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で［スチルモード］を［フィールド］に切り換えてください。
［ ➡ 62〜64ページ］
- MP3とJPEGの同時再生中に[一時停止]ボタンを押すとJPEGファイルのみ一時停止します。再度[一時停止]ボタンを押すと、MP3ファイルも一時停止します。
- MP3とJPEGの両方が一時停止中に[再生]ボタンを押すと、両ファイルとも再生されます。

1 再生中に 一時停止 を押す

- DVDは静止画再生となります。
- 音楽用CD、MP3、WMA、JPEGは一時停止となります。

2 再生を再開するには ▷再生 を押す

チャプターやトラックを頭出しする（スキップ）

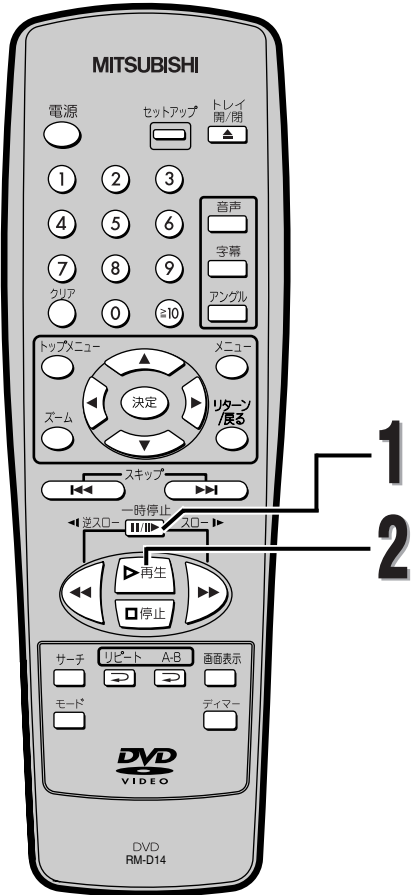
1 再生中に ▶▶| または |◀◀ を押す

- DVDの場合は、同一タイトル内のチャプターの頭出しができます。
- 音楽用CDまたは、MP3/WMA/JPEGの場合は、トラックの頭出しができます。

▶▶| —次のチャプターを頭出しします。

または

|◀◀ —現在のチャプターを頭出しします。（JPEGの場合は前のトラックに戻ります）さらに押すと前のチャプターに戻ります。

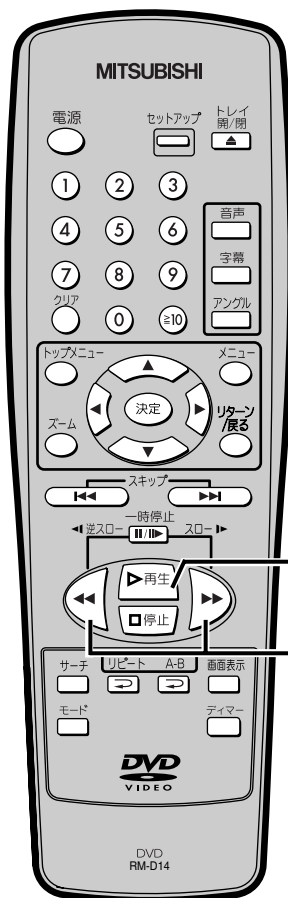
- 一時停止状態からスキップすると、一時停止のままで止まります。再生させるには[再生]ボタンを押してください。
- MP3とJPEGを同時再生しているときのスキップ操作は、MP3ファイルに対してのみ有効です。JPEGファイルをスキップ操作する場合は、カーソルボタン[◀ / ▶]を押してください。ただし、「ディスプレイ」（映像設定）の［スライドショー］を［トラック］にしている場合は、MP3とJPEG両方に有効です。［ ➡ 64ページ］

コマ送り

1 再生一時停止中に 一時停止[II/I▶] を押す

- ボタンを押すたびに、音声は消音されたまま、1コマずつコマ送りされます。
- コマ送り再生中は字幕も表示されます。
- 逆方向のコマ送りはできません。

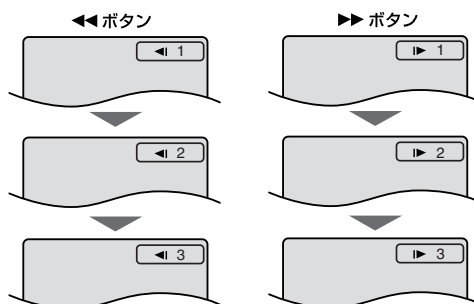
2 [▶再生] を押すと通常の再生速度に戻る

ちょっと一言！

- 本機では逆方向のコマ送り（コマ戻し）はできません。
- コマ送り再生中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 62～64ページ]

スロー再生

1 再生一時停止中に ▶▶ または ◀◀ を押す

（音声は消音のままです。）

- ボタンを押すたびに1（×1/16）、2（×1/8）、3（×1/2）の3段階に再生速度が変わります。

- 再生速度の倍速は通常再生を1としたときの目安です。実際の速度ではありません。

2 ▷再生 を押すと通常の再生速度に戻る

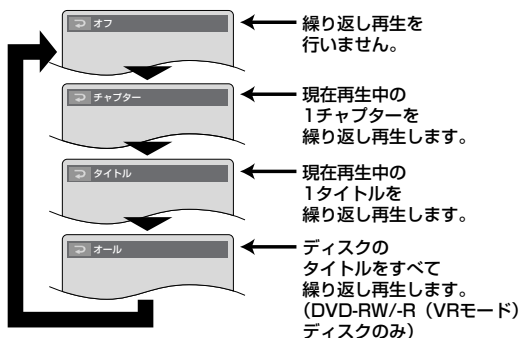
- 音楽用CDのスロー再生はできません。
- スロー再生中に映像がブレる場合は、「ディスプレイ」（映像設定）で[スチルモード]を[フィールド]に切り換えてください。[➡ 62～64ページ]

再生
スロー再生

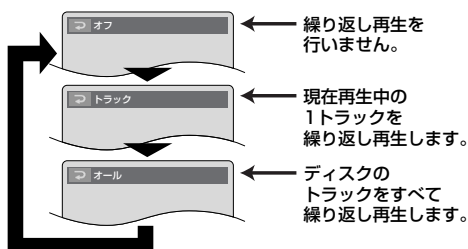
繰り返し再生（リピート再生）

1 再生中に リピート を押す

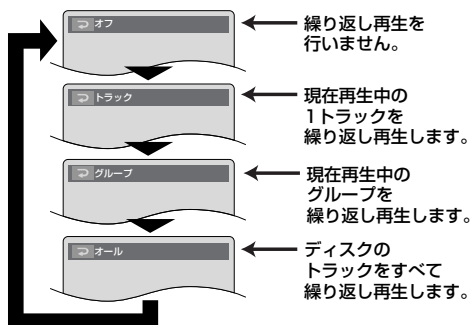
DVDの場合

- １つのタイトルまたはチャプター、ディスク全体（DVD-RW/-R（VRモード）ディスクのみ）を、繰り返し再生します。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

音楽用CDの場合

- ディスク全体または1つのトラックが繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

オフ　繰り返し再生を行いません。
トラック　現在再生中の1トラックを繰り返し再生します。
オール　ディスクのトラックをすべて繰り返し再生します。

MP3/WMA/JPEGの場合

- グループまたは1つのトラック、ディスク全体が繰り返し再生されます。
- リピート を押すと画面上の表示が右図のように切り換わります。

オフ　繰り返し再生を行いません。
トラック　現在再生中の1トラックを繰り返し再生します。
グループ　現在再生中のグループを繰り返し再生します。
オール　ディスクのトラックをすべて繰り返し再生します。

2 通常の再生に戻すには、リピート を押して“オフ”を表示させる

音楽用CD、MP3、WMA、JPEGの場合は、プログラム/ランダム再生中に リピート を押し、“オール”にするとプログラム/ランダム再生が繰り返し実行されます。

ちょっと一言！
- DVDディスクによっては、再生の繰り返しができないものがあります。
- チャプターリピート、トラックリピート再生中にスキップを行うと、リピート再生は解除されます。また、A-Bリピート再生中はほかのリピート再生はできません。
- リピート設定をしても、タイトル・チャプターの先頭に戻らず、次の場面に移るディスクがあります。

繰り返し再生（A-Bリピート再生）

指定した2点間を繰り返し再生することができます。

1 再生中に繰り返し再生の開始点にしたい箇所で A-B を押す

- 開始ポイント（A）が選択されます。

2 リピート再生の最終点にしたい箇所で、再度 A-B を押す

- 選択されたセクションが繰り返し再生されます。

3 A-Bリピート再生を終わらせるには、A-B を押して“オフ”を表示させる

- DVDの場合、A-Bリピートは、現在のタイトル内にのみ設定することができます。
- 音楽用CDの場合、A-Bリピートは、現在のトラック内に設定することができます。
- DVDの場面によっては、A-Bリピート機能を利用できない場合もあります。
- Bポイントの選択前にAポイントをキャンセルしたいときは、クリア を押すと、“オフ”と表示されます。
- A-Bリピート再生中にスキップを行うと、A-Bリピート再生は解除されます。また、ほかのリピート再生中はA-Bリピート再生はできません。
- MP3/WMAのA-Bリピートはできません。
- Aポイントのみ設定したままタイトル／トラックの終端まで再生された場合は、自動的に終端にBポイントが設定されます。

再生

繰り返し再生（A-Bリピート再生）

音楽用CDをプログラム再生する

準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。

1 ディスクを挿入し、停止中に モード を押す

- プログラム設定画面が表示されます。
- 表示はディスクにより異なります。

2 ▲ / ▼ を押して希望するトラック番号を選択し、決定 を押す

- 引き続き別のトラックをプログラムするときは、手順2を繰り返します。
- 選択したトラックの合計時間が画面上側に表示されます。
- 最後に入力したプログラムを取り消すには、クリア を押します。

3 ▷再生 を押す

- プログラムされている順序で再生が開始します。

ちょっと一言!

- プログラム設定画面右側のリストが複数ページとなる時、リスト画面のページ送りはリモコンの ▶▶| 、ページ戻しは |◀◀ を押します。
- お好みの順番で最大99トラックまで再生ができます。
- プログラム再生中はプログラムの追加はできません。このような操作を行う前に現在の再生を停止してください。
- プログラム再生中は、希望のトラックからの再生およびランダム再生はできません。
- すべてのプログラムを消すには、手順2でリストの一番下の“オールクリア”を選択してください。
- プログラムの設定は、電源が切れたり､ディスクが入っているトレイが開くと､消去されます。
- プログラム再生中に次の再生をするときは ▶▶| を押してください。

プログラム再生中、[停止]ボタンは次のように作動します。

- [停止]ボタンを1回押した場合、停止してリジューム機能が働きます。

  再生再開時：停止されていた位置から、プログラム再生を続けることができます。
- [停止]ボタンを2回押した場合、プログラムオフとなります。プログラム設定は保持されます。

  再生再開時：トラック1から通常再生を始めます。

音楽用CDをランダム再生する

準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。

1 ディスクを挿入し、停止中に [モード] を押す

- プログラム設定画面が表示されます。
- 表示はディスクにより異なります。

2 [モード] をもう一度押す

- ランダム設定画面が表示されます。

3 [▷再生] を押す

- ランダム再生が始まります。

4 ランダム再生をやめるには [□停止] を押す

- [停止]ボタンを1回押した場合は、ランダム再生が解除され、リジューム機能が働きます。
- [停止]ボタンを2回押した場合は、リジューム機能は働きません。

- ランダム再生中は、希望のトラックからの再生およびプログラム再生はできません。
- ランダム再生中は、前のトラックへ戻ることはできません。
- ランダム再生は、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと解除されます。

ディスクメニューを使う

ディスクの内容を表示し、ディスクメニューから再生することができます。

（例）

● 表示される内容はDVDによって異なります。ここでは一般的な操作の例を示しています。

準備

● テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。

1 ディスクを挿入し、[メニュー]を押す

● ディスクメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

● カーソルボタン[▲ / ▼ / ◀ / ▶]を押して選びます。
次に（決定）を押します。

● ディスクによっては、数字ボタンや[再生]ボタンが有効な場合があります。

3 選択したタイトルから再生が始まる

タイトルメニューを使う

タイトルメニューが入っているDVDの場合は、このメニューの中から希望するタイトルを選択することができます。

準備

- テレビの電源を入れ、テレビの入力切換を「ビデオ」にします。

1 ディスクを挿入し、トップメニュー を押す

- タイトルメニューが表示されます。

2 希望するタイトルを選択する

- カーソルボタン[▲/▼/◀/▶]を押して選びます。
  次に 決定 を押します。
- ディスクによっては、数字ボタンや[再生]ボタンが有効な場合があります。

3 選択したタイトルから再生が始まる

再生中にメニュー画面を呼び出す

- メニュー を押してディスクメニューを呼び出します。
- トップメニュー を押してタイトルメニューを呼び出します。
  （ディスクによっては呼び出せないものがあります。）

ちょっと一言！

- タイトルメニューの内容や役割は、ディスクによって異なります。
- 詳細はディスク付属の説明書を参照してください。

VRモードで記録されたDVD-RW/-Rディスクを再生する

VRモード（ビデオレコーディングフォーマット）で記録されたDVD-RW/-Rディスクにプレイリストを設定しているときは、“オリジナル”、または“プレイリスト”を選択して再生することができます。

1 停止中に（メニュー）を押す

- 現在設定されているメニューが表示されます。

2 ◀／▶を押してオリジナル、またはプレイリストを選択する

- プレイリストが作成されていないときは、メニュー画面にプレイリストは表示されません。
- 設定の状態を切り換えると、つづき情報(リジューム)は解除されます。
- 表示はディスクにより異なります。

3 ▲／▼を押して希望するタイトルを選択し、（決定）を押す

- ディスクによっては数字ボタンや［再生］ボタンが有効な場合があります。
- 選択したタイトルの再生が始まります。

ちょっと一言！

- DVDレコーダーで録画して作られたタイトルをオリジナルと呼びます。
- オリジナルをもとに編集用に作成したタイトルをプレイリストと呼びます。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。
- ディスク名／タイトル名は25文字まで表示できます。英数、アルファベット、ひらがな、カタカナによる表示が可能で、その他認識されない文字はアスタリスクで表示されます。また、表示可能な文字であっても記録方式によっては表示できない（アスタリスクが表示される）場合があります。
- VRモードで記録されたDVD-RW/-Rでは、編集（タイトル消去・記録の繰り返し）やプレイリスト作成により、再生中に映像や音声が一瞬止まることがあります。

希望するチャプターまたはタイトルからの再生（チャプター／タイトルサーチ）

1 再生中に サーチ を1回押す

- チャプターサーチ画面が表示されます。

2 タイトルサーチをする場合は、もう一度 サーチ を押す

- タイトルサーチ画面が表示されます。

3 数字ボタンを押して、希望するチャプターまたはタイトル番号を入力する

例） チャプター、トラック：1
（0）→（1）（2桁の場合）
または（0）→（0）→（1）（3桁の場合）

- ディスクに2桁以上のチャプターやタイトルがあるときに1桁のチャプターやタイトルを選ぶときは、[0]ボタンを押してから希望の数字を押してください。
- 1桁のチャプターやタイトルしかない場合は、その数字を押してください。
- 入力を間違った場合は、クリア を押したあと入力し直してください。

スキップ[⏮、⏭]の使い方
再生中または一時停止中に[⏭]ボタンを押すと、次のチャプターに飛び、再生または再生一時停止されます。[⏮]ボタンを一回押すと、そのときに再生されていたチャプターの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に[⏮]ボタンをもう一回押すと一つ前のチャプターに戻ります。

ちょっと一言！

- DVDディスクによっては、希望するタイトルまたはチャプターからの再生ができないことがあります。
- 再生中に、数字ボタンで直接チャプターサーチすることもできます。
  1桁の番号をサーチする場合の例）
  チャプター1：（1）
  2桁以上の番号をサーチする場合の例）
  チャプター10：（≧10）→（1）→（0）
- 停止中に、数字ボタンで直接タイトルサーチすることもできます。
  1桁の番号をサーチする場合の例）
  タイトル1：（1）
  2桁以上の番号をサーチする場合の例）
  タイトル10：（≧10）→（1）→（0）

希望するところから再生する(サーチ)

希望するタイムカウントからの再生（タイムサーチ）

1 再生中に サーチ を繰り返し押してタイムサーチ画面を表示する

2 数字ボタンを押すと希望するタイムカウント(時間)から再生される

- 例：1時間23分30秒の場合
  ①→②→③→③→⓪
- 入力を間違った場合は、クリア を押したあと入力し直してください。
- 入力が確定すると、自動的にサーチし再生します。

ちょっと一言!

- DVDディスクの場合、チャプターのタイムサーチはできません。
- 音楽用CDの場合、CD全体のタイムサーチはできません。
- ディスクによっては、タイムカウント(時間)からの再生ができないものがあります。
- ディスクの収録時間を超えた数値を入れたとき、タイムサーチは働きません。
- MP3/WMAのタイムサーチはできません。
- タイトルやトラックの総時間に応じて、入力する必要のない箇所にはあらかじめ０が表示されます。
  例えばタイトルの総時間が１０分未満ならば、０：０_：_ _と表示されます。

希望するところから再生する（サーチ）

希望するトラックからの再生（トラックサーチ）

1

再生中または停止中に サーチ を１回押してトラックサーチ画面を表示する

2

数字ボタンを押すと希望するトラック番号から再生される

- ディスクに2桁以上のトラックがあるときに1桁のトラックを選ぶときは、[0]ボタンを押してから希望の数字を押してください。

例） トラック：１

⓪→①（2桁の場合）

または ⓪→⓪→①（3桁の場合）

- 1桁のトラックしかない場合は、その数字を押してください。
- 入力を間違った場合は、 クリア を押したあと入力し直してください。

スキップ[⏮、⏭]の使い方

再生中または再生が一時停止中に[⏭]ボタンを押すと、そのときに再生されていたトラックを飛ばして次のトラックが再生されます。[⏮]ボタンを一回押すと、そのときに再生されていたトラックの頭出しをして再生を始めます。再生が始まってから2秒以内に[⏮]ボタンをもう一回押すと一つ前のトラックに戻ります。

サーチ

希望するトラックからの再生（トラックサーチ）

ちょっと一言！

- 再生中または停止中に、数字ボタンで直接トラックサーチすることもできます。

1桁の番号をサーチする場合の例）

トラック1：①

2桁以上の番号をサーチする場合の例）

トラック10：≧10→①→⓪

マーカーをしたところからの再生（マーカーサーチ）

マーカー機能を使って、指定した箇所をすばやく頭出しすることができます。マーカーは10個まで設定することができます。

マーカーを設定するには

1 再生中に サーチ を繰り返し押してマーカーサーチ画面を表示する

2 ◀/▶ を押して設定されていないマーカー（_ _ _ _:_ _:_ _）を選ぶ

3 マーカーを付けたい箇所で 決定 を押す

- マーカーを付けた箇所の時間が表示されます。
- サーチ または リターン/戻る を押すと再生中の画面に戻ります。

マーカーを設定したところから再生するには

1 再生中または停止中に サーチ を押してマーカーサーチ画面を表示する

✓ ✓ 2 ✓ 4 5 6 7 8 9 10 AC
TR 1 0:10:10

2 ◀/▶ を押して頭出ししたいマーカーを選び 決定 を押す

- 選択された箇所から再生が始まります。
- サーチ または リターン/戻る を押すと再生中の画面に戻ります。

マーカー設定を削除するには

1 再生中または停止中に サーチ を押してマーカーサーチ画面を表示する

✓ ✓ 2 ✓ 4 5 6 7 8 9 10 AC
TR 1 0:10:10

2 ◀/▶ を押して削除したいマーカーを選び クリア を押す

- すべてのマーカー設定を削除する場合は、◀ ▶ で"AC"を選び、決定 を押します。
- サーチ または リターン/戻る を押すと再生中の画面に戻ります。

ちょっと一言!

- 設定したマーカーは、電源が切れたり、ディスクが入っているトレイが開くと削除されます。

サーチ

マーカーをしたところからの再生（マーカーサーチ）

再生中に切り換える

音声（言語）をかえる

本機には、希望する音声(言語)およびサウンドモードが選択できる機能が備えられています。

1 再生中に［音声］を押す

2 ［音声］を繰り返し押して希望する音声(言語)を選択する

- DVDディスクに複数の音声（言語）が含まれている場合に切り換えることができます。
- 音楽用CDはステレオ／左チャンネル（L-ch）／右チャンネル（R-ch）に切り換えることができます。
- 二重音声（二カ国語）で録音されているDVD-RW/-R(VRモード)では、主音声、副音声、主音声＋副音声を切り換えることができます。

DVDの場合

（例）

1 英語　ドルビーD 3/2.1ch 48k/5

2 日本語　ドルビーD 3/2.1ch 48k/5

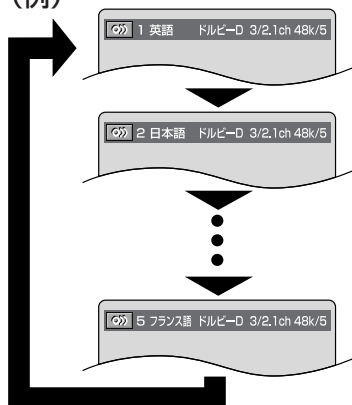
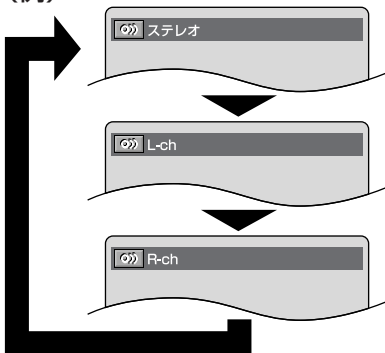
5 フランス語　ドルビーD 3/2.1ch 48k/5

音楽用CDの場合

（例）

ステレオ

L-ch

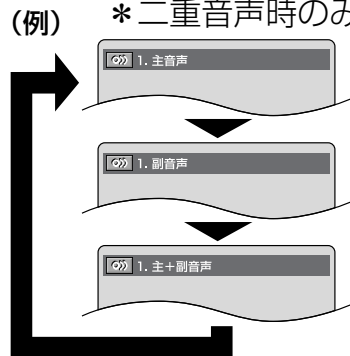
R-ch

DVD-RW/-R (VRモード)の場合 ＊二重音声時のみ

（例）

1. 主音声

1. 副音声

1. 主＋副音声

こんにちは → HELLO ・・・・

ちょっと一言!

- DVDディスクによっては、複数の言語が入っていても[音声]ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で音声を切り換えてください。
- [音声]ボタンを数回押しても希望する言語が表示されないとき、言語がDVDディスクに含まれていません。
- 電源を切ると、「言語設定」画面の［音声言語］で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、DVDディスクに入っている言語が選ばれます。
- 音声言語表示画面は、約5秒後に消えます。
- 音声言語の表示には"日本語"や"英語"のほかに、アルファベット3文字や"－－－"と表示される場合があります。
- DTS・CDはサウンドモードを切り換えることができません。
- DVD-RW/-R(VRモード)で二重音声が記録されていない場合は、主音声、副音声、主+副音声の切り換えはできません。
- デジタル接続のみで音声出力しているときは、VRモードのディスク再生時に音声を切り換えることはできません。
- スピーチコントロール[➡ 51ページ]起動中は、音声（言語）の切り換えができません。
- MP3/WMA音声の設定は変更ができません。

字幕（言語）をかえる

本機には、希望する字幕(言語)を選択できる機能が備えられています。

1 再生中に［字幕］を押す

2 さらに［字幕］を押して希望する言語の字幕を選択する

- 再生中のDVDに複数の言語が含まれている場合、字幕(言語)を切り換えることができます。
- 字幕(言語)は、使用中のDVDに1つの言語しか含まれていない場合、切り換えることができません。

(例)

字幕(言語)オン/オフの切り換えは次のように行うことができます。

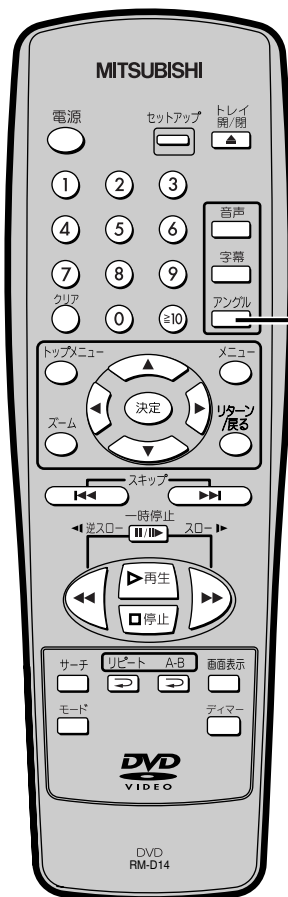
1. ［字幕］を押す。
2. ◀/▶を押す。

- ［字幕］を押すと字幕(言語)が、字幕1、字幕2…と言語が切り換わります。

ちょっと一言!

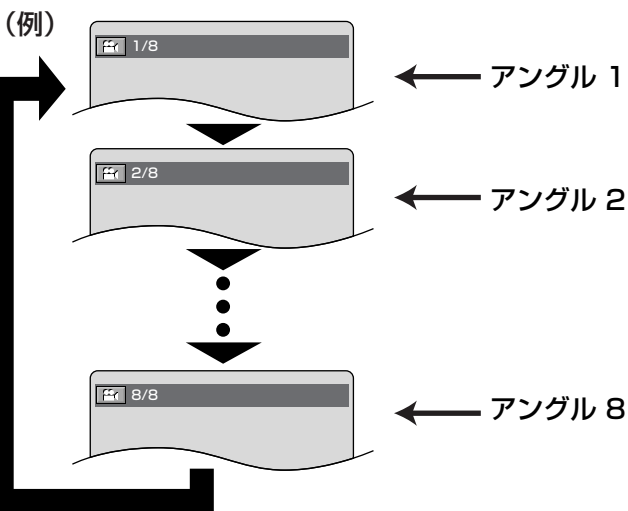
- ［字幕］を繰り返し押しても希望する言語が表示されないときは、その言語の字幕がDVDに含まれていません。
- 電源を切ると、「言語設定」の[字幕言語］で選択されている言語に戻ります。選択された言語がDVDに含まれていないときは、DVDに入っている言語が選ばれます。
- 変更した字幕(言語)が表示されるまで多少時間がかかる場合があります。
- 字幕言語表示画面は約5秒後に消えます。
- 字幕“なし”が画面上に表示されたときは、字幕はそのシーンに入っていません。
- 字幕言語には、"日本語"や"英語"のほかに、アルファベット3文字や"－－－"と表示される場合があります。
- DVDによっては、複数の言語が入っていても[字幕]ボタンが作動しないことがあります。このような場合は、メニュー画面で字幕を切り換えてください。

アングル（カメラアングル）をかえる

本機には、希望するカメラアングルを選択できる機能が備えられています。

1 再生中に［アングル］を押す

- [アングルアイコン]の設定を［オン］にしている場合、各種カメラアングルの画像が記録されたDVDでは、画面右上にアングルアイコン（ ）が表示されます。画面上にこのアイコンが表示されているときに､カメラアングルを変更できます。
- 画面に禁止アイコン( )があらわれた場合、カメラアングルを変更することができません。

2 アングル番号が画面上に表示されている間に［アングル］を押す

（例）

ちょっと一言！

- アングル表示画面は約5秒後に消えます。
- [アングルアイコン]の設定を[オフ]にしている場合はアングルアイコンはあらわれません。[➡ 62～64ページ]
- ディスクによっては、アングルアイコンが表示されていてもアングルの切り換えができない場合があります。

ズーム再生（画面上で拡大）

お好みにより画面上で1.3倍、2倍または4倍の大きさに拡大できます。

1 再生中に ズーム ◯ を押す

- 画面中央で画像が拡大されます。
- ズーム ◯ を繰り返し押すと、3段階の切り換えができます。

2 ズーム再生中に▲/▼/◀/▶を押すと、ズームする部分が移動する

- ズームフレームを中心から上下左右に移動させることができます。
- 現在拡大されている箇所は画面下のカーソル（■）部分です。
- 画面右下の表示が必要な場合は（決定）を押してください。もう一度（決定）を押すと、表示を消すことができます。JPEGは画面右下のガイドが表示されません。

ちょっと一言！

- 4:3レターボックス表示にしている場合は、表示される画像が倍率よりも多少大きくなります。
- ディスクによっては4倍ズームできないものもあります。
- JPEGは2倍ズームのみ拡大できます。
- JPEGの2倍ズーム中は、一時停止になります。つづきから再生する場合は、ズームを解除してください。
- JPEGはズームフレームが表示されません。

画質・音声調整設定

1 再生中に モード を押す

- 画質の設定画面が表示されます。
- 音楽用CDやMP3/WMAの場合は［バーチャルサラウンド］設定画面が表示されます。
（➡ 53ページを参照ください。）

2 項目を選択する

- モード を押すたびに下記の順で設定画面が表示されます。

DVDの場合

ディスク再生画面 → スピーチコントロール画面 → 画質調整画面 → 画質ユーザー設定画面※ → 黒レベル設定画面 → バーチャルサラウンド設定 → ディスク再生画面

※ ［画質調整］を［ユーザー］に設定しているときにのみ表示されます。

音楽用CD、MP3、WMAの場合

ディスク再生画面 ←→ バーチャルサラウンド設定画面

JPEGの場合

ディスク再生画面 → スライドショーモード画面 → 画像サイズ設定画面 → ディスク再生画面

デュアル再生（MP3/JPEG）

（［デュアル再生］が［オン］の場合のみ有効［➡ 65～66ページ］）

ディスク再生画面 → バーチャルサラウンド設定画面 → スライドショーモード画面 → 画像サイズ設定画面 → ディスク再生画面

ちょっと一言!

- ［画質調整］・［画質ユーザー設定］は、電源を切ると「ディスプレイ」（映像設定）で選択されている設定に戻ります。
- ［黒レベル設定］・［バーチャルサラウンド設定］は、電源を切っても設定はそのまま残ります。
- スライドショーモード画面は、➡ 27ページを参照ください。
- 画像サイズ設定画面は、➡ 28ページを参照ください。

再生速度を微調整する(スピーチコントロール)

※ドルビーデジタル方式で記録されたディスクのみ有効な機能です。

1. ◀ / ▶ を押すと×1.3/×0.8/オフが切り換わります。

×0.8：約0.8倍速で再生を行います。
×1.3：約1.3倍速で再生を行います。
オフ　：通常再生を行います。

2. ▶再生 を押すと通常再生に戻ります。

ちょっと一言!

- スピーチコントロール中は音声（言語）切り換えはできません。
- スピーチコントロール中は画質調整設定または黒レベル設定、バーチャルサラウンド設定はできません。
- スピーチコントロール中は、バーチャルサラウンド機能は働きません。
- ディスクによってはスピードコントロールが働かない箇所があります。
- デジタル端子（同軸音声出力端子）に接続している場合PCM音声が出力されます。

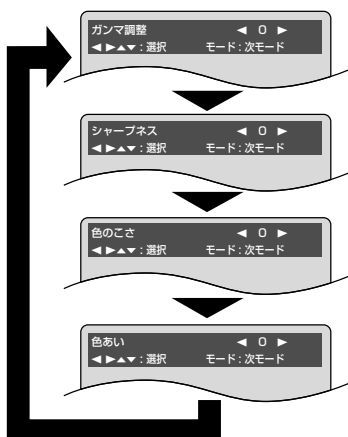
次ページへ続きます。

画質調整(初期設定：スタンダード)

◄ / ► を押すと設定が切り換わります。

表示する映像を見やすく設定します。
スタンダード： 映像の補正を行わずに再生します。
シネマ： 暗部の階調を補正して、映画などの暗いシーンなどを見やすく再生します。
ユーザー： ガンマ調整、シャープネス、色のこさ、色あいを設定することができます。

- スピーチコントロール起動中は設定の変更ができません。

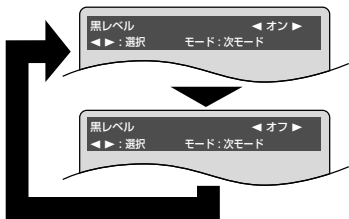
画質ユーザー設定(初期設定：すべて0)

［画質調整］画面の［ユーザー］を選択して モード を押すと［画質ユーザー設定］画面が表示されます。

1. ◄ / ► を押すと数値が変更されます。
2. ▲ / ▼ を押すと項目が切り換わります。
3. モード を押し、変更内容を保存します。

メモリーする　はい／いいえ
◄ ►：選択　決定：決定

4. ◄ / ► を押し、保存するときは「はい」を、保存しないときは「いいえ」を選択し 決定 を押します。

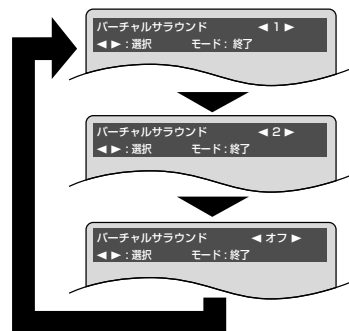
「はい」を選択した場合は、「ディスプレイ」（映像設定）の［画質ユーザー設定］の値も変更されます。
「いいえ」を選択した場合は、電源を切るとセットアップの「ディスプレイ」（映像設定）の［画質ユーザー設定］の値に戻ります。

ガンマ調整（−1、0、+1、+2）
映像の中間明度を調整します。+側にすると中間明度を強調し暗くて見えにくい場面を見やすくします。
シャープネス（−2、−1、0、+1、+2）
映像の鮮鋭度（解像感）を調整します。+側にするとクッキリし、−側にするとソフトになります。
色のこさ（−2、−1、0、+1、+2）
映像の色の濃さを調整します。+側にすると色が濃くなります。
色あい（−2、−1、0、+1、+2）
映像の色合いを調整します。+側にすると緑がかり、−側にすると赤みがかります。

黒レベル設定(初期設定：オフ)

◄ / ► を押すと設定が切り換わります。

暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
オン： 暗部の補正を行います。
オフ： 補正を行わずに表示します。

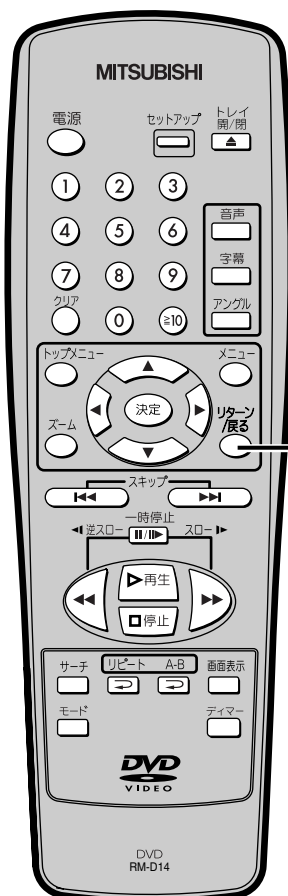
黒レベル設定は、スピーチコントロール起動中に設定の変更ができません。

バーチャルサラウンド設定(初期設定：オフ)

◄ / ► を押すと設定が切り換わります。

バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。
1： サラウンド（標準）
2： サラウンド（強）
オフ： オリジナルの音声を再生します。

バーチャルサラウンド設定は、スピーチコントロール起動中に設定の変更ができません。

ちょっと一言！

- 音楽用CDでサウンドモードを［ステレオ］以外に設定している場合は、バーチャルサラウンドを切り換えることができません。（➡ 47ページをご覧ください。）

3

リターン/戻る を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

再生中に切り換える

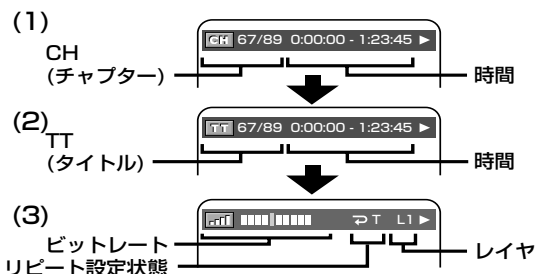
画面表示の切り換え

リモコンの[画面表示]ボタンを押してディスクについての情報を確認することができます。

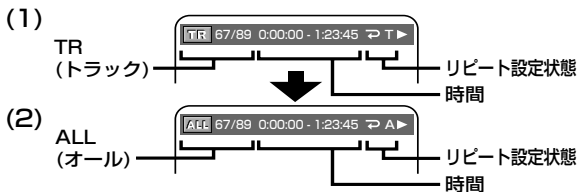
再生情報の表示

1 再生中に [画面表示] を押す

- 画面上に情報が表示されます。
- [画面表示] を繰り返し押すと、次の情報が表示されます。

DVDの場合

	項目	表示内容
(1)	CH	現チャプター番号/総チャプター数
	時間	チャプター経過時間/チャプター残り時間
(2)	TT	現タイトル番号/総タイトル数
	時間	タイトル経過時間/タイトル残り時間
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　T：タイトル　A⇄B：A-Bリピート
	レイヤ	L0/L1 2層ディスクを再生している時、現在再生しているレイヤ（層）を表示します。

[リターン/戻る]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

音楽用CDの場合

プログラム再生中やランダム再生中は、"プログラム"または"ランダム"のみの表示もでます。

	項目	表示内容
(1)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間/トラック残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック　A：オール　A⇄B：A-Bリピート
(2)	ALL	現トラック番号/総トラック数
	時間	ディスク経過時間/ディスク残り時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T：トラック　A：オール　A⇄B：A-Bリピート

[リターン/戻る]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

DVD-RW/-R(VRモード)の場合

(1)と(2)はDVDの場合と同じです

	項目	表示内容
(3)	ビットレート	画像の情報量 DVDに記録されている画像の情報量を示す値です。表示は目安です。
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 C：チャプター　T：タイトル　A：オール A⇄B：A-Bリピート
	プレイリスト	ORG：[オリジナル]を再生しています。 PL：[プレイリスト]を再生しています。

[リターン/戻る]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

MP3の場合

プログラム再生中やランダム再生中は、"プログラム"または"ランダム"のみの表示もでます。

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラックの名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T : トラック　G : グループ　A : オール

[リターン/戻る]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

デュアル再生オン設定時のMP3、JPEGの場合

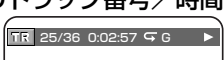
(3) MP3のトラック番号／時間

(4) フォルダ再生のみ

フォルダ再生

	項目	表示内容
(1)	ファイル名（JPEG）	現在再生しているJPEGトラックの名称
(2)	ファイル名（MP3）	現在再生しているMP3トラックの名称
(3)	TR	現MP3トラック番号/総トラック数
	時間	MP3トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T ： トラック G ： グループ A ： オール

[リターン/戻る]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

JPEGの場合

(3) プログラム／ランダム再生中のみ

（[デュアル再生］設定が［オン］の場合は選択できません）

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラック（ファイル）の名称
(2)	TR	現トラック番号/総トラック数
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます（リピート設定されていないときは表示されません）。 T : トラック（ファイル） G : グループ（フォルダ） A : オール

[リターン/戻る]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

WMAの場合

(5) プログラム/ランダム再生中のみ

プログラム　または　ランダム

	項目	表示内容
(1)	ファイル名	現在再生しているトラックの名称
(2)	タグ情報 (タイトル名)	現在再生しているトラックの タイトル名
(3)	タグ情報 (アーティスト名)	現在再生しているトラックの アーティスト名
(4)	TR	現トラック番号/総トラック数
	時間	トラック経過時間
	リピート	現在設定中のリピート状態が表示されます(リピート設定されていないときは、表示されません)。 T : トラック（ファイル） G : グループ（フォルダ） A : オール

ファイル名は25文字まで表示されます。
タイトル名、アーティスト名は64文字まで表示されます。
一度に表示できない場合は、スクロール表示されます。
[リターン/戻る]ボタン、または[画面表示]ボタンを押すと再生画面に戻ります。

設定をかえる(セットアップ)

設定一覧

便利にお使いいただくために設定しておける内容と、お買い上げ時の設定を一覧表にしています。

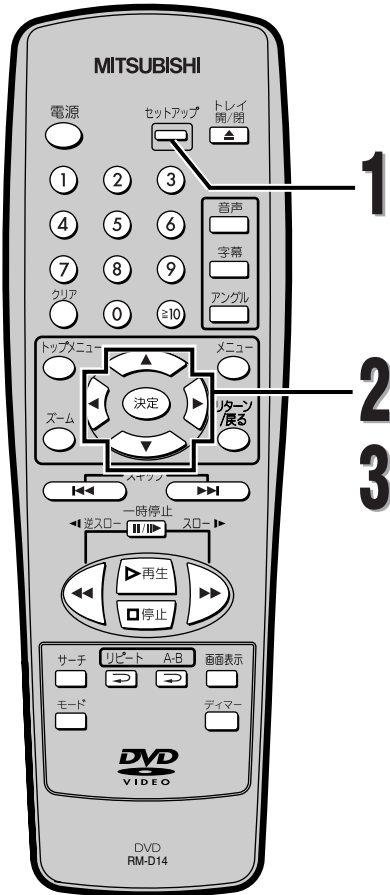
● ワイドテレビとの接続や、オーディオアンプとのデジタル接続時に設定を変える必要があります。詳しくは各ページをご覧ください。

メニュー項目	設定項目(はお買い上げ時)		設定内容
1. 言語設定 ➡ 59～61ページ	音声言語	オリジナル 日本語 英語 ⋮	スピーカーから聞こえる音声言語の種類を設定
	字幕言語	オフ 日本語 英語 ⋮	テレビに表示される字幕言語の種類を設定
	ディスクメニュー言語	日本語 英語 ⋮	ディスクメニューなど画面表示される言語の種類を設定
	画面表示言語 簡単設定	日本語 ENGLISH	設定画面の言語やテレビ画面に表示される言語の設定
2. ディスプレイ(映像設定) ➡ 62～64ページ	TV画面モード 簡単設定	4:3レターボックス 4:3パンスキャン 16:9ワイド 16:9ノーマル	接続するテレビのタイプに合わせて設定
	画質調整	スタンダード シネマ ⋮	映像の色合い等を調整
	スチルモード	オート フィールド フレーム	一時停止中の画質を設定
	表示パネル	明るい 暗い オート	本体表示パネルの照度設定
	D1/D2出力 簡単設定	インターレース プログレッシブ	プログレッシブスキャンの設定
	スライドショー	5秒 10秒 トラック	JPEGの表示時間を設定 [デュアル]再生を[オン]にしないと[トラック]の表示は出ません)
	アングルアイコン	オン オフ	アングルアイコン( )の画面表示有無の設定
	画面表示	オン オフ	テレビ画面に表示される“▶”等の表示の有無を設定
3. オーディオ(音声設定) ➡ 65～66ページ	DRC	オン オフ	音量範囲をコントロールするか設定
	ドルビーデジタル 簡単設定	ビットストリーム PCM	デジタル音声出力端子からでる音声信号の種類を設定
	DTS 簡単設定	ビットストリーム オフ	
	ダウンサンプリング	オン オフ	デジタル端子接続時、96kHzのPCMで録音された音声信号を48kHzに変換するか設定
	デュアル再生	オン オフ	MP3とJPEGの同時再生オン/オフを設定
4. 視聴制限 ➡ 67～68ページ	視聴レベル	オール 8～1	DVDソフトの視聴制限のレベルを設定
	パスワード変更	4桁のパスワードを入力	パスワードの設定・変更

● 設定を変更すると、その内容は電源を切った状態でも保持されます。
● 停止状態でないと、セットアップ機能は利用できません。
● メニュー画面付きDVDを再生したときは、ディスクメニューでの設定が優先されることがあります。
● 簡単設定 マークのある項目は、「簡単設定」画面と「詳細設定」画面のどちらでも設定できます。その他の項目は、「詳細設定」画面でのみ設定できます。

簡単設定

再生中の場合、 □停止 を押します。

1

セットアップ ▭ を押す

- 「簡単設定」画面が表示されます。

2

◁ / ▷ を押して“簡単設定”を選択し、決定 を押す

- 「簡単設定」画面が表示されます。

- 手順2～3で1つ前の階層のメニューに戻る場合は、 リターン/戻る を押します。

3

△ / ▽ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

画面表示言語（初期設定：日本語） 簡単設定
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。

決定 を押す

△ / ▽ を押して選択したい項目を選び、 決定 を押す

TV画面モード（初期設定：4:3 レターボックス） 簡単設定

4:3 レターボックス ：通常のテレビで、ワイド画像を横長のまま表示して画面の上下に帯が入ります。
4:3 パンスキャン ：通常のテレビで、ワイド画像の一部をカットして画面全体に表示します。
16:9ワイド ：ワイドテレビまたはワイドモードのある通常テレビで見る場合に選びます。
16:9ノーマル ：［16:9ワイド］にすると通常サイズ（4:3）の映像が横長になり、そのときの画面サイズをテレビ側では切り換えることができない場合に選びます。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

D1/D2出力（初期設定：インターレース） 簡単設定

プログレッシブスキャンの方式を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は[➡ 19ページ]をご覧ください。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

ドルビーデジタル（初期設定：ビットストリーム） 簡単設定

ビットストリーム ：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
PCM ：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

DTS（初期設定：オフ） 簡単設定

ビットストリーム ：DTSデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
オフ ：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

4

セットアップ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。
- この時点でD1/D2出力の設定は有効になります。

言語設定

再生中の場合、 □停止 を押します。

1

セットアップ ▭ を押す

- 「簡単設定」画面が表示されます。

2

◁/▷ を押して“詳細設定”を選択し、

(決定) を押す

- 「詳細設定」画面が表示されます。

3

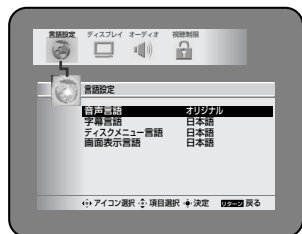
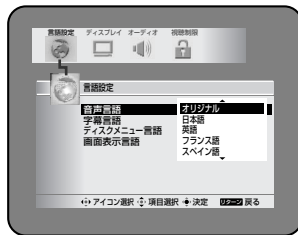
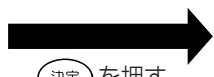
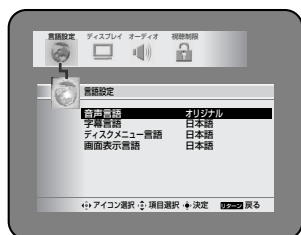
◁/▷ を押して“言語設定”を選択し、

(決定) を押す

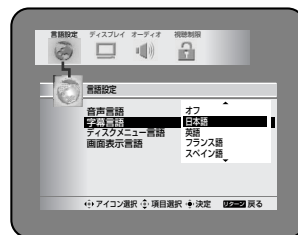
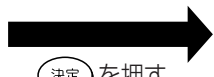
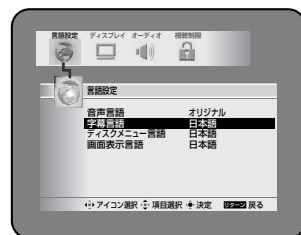
- 手順3～4で1つ前のメニューに戻る場合は、 リターン/戻る を押します。

4

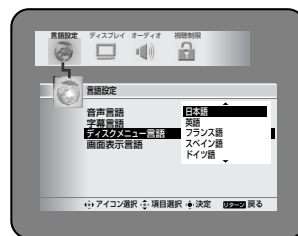
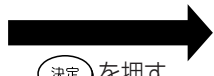
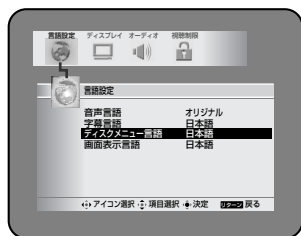
△/▽ を押して選択したい項目を選び、 (決定) を押す

次ページへ続きます。

音声言語（初期設定：オリジナル）
再生ディスクの言語(音声)を選択します。
＊オリジナル：ディスクのオリジナル言語(音声)となります。

決定 を押す

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

字幕言語（初期設定：日本語）
再生ディスクの言語(字幕)を選択します。
＊オフ：字幕なしとなります。

決定 を押す

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

ディスクメニュー言語（初期設定：日本語）
ディスクメニューの表示言語を選択します。

決定 を押す

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

音声言語または字幕言語、ディスクメニュー言語に入っていない言語を選ぶ場合

[その他］を選択し､言語コード設定画面を表示させ 決定 を押します。[➡ 61ページ]の言語コード一覧表を参照しながら数字ボタンを押して希望する言語コードを入力します。

画面表示言語（初期設定：日本語） 簡単設定
本機の設定画面や画面表示の言語を選択します。

決定 を押す

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

設定をかえる 言語設定

5

セットアップ
▭ を押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言!

● 一部のディスクでは音声と字幕の言語設定が利用できませんので、[音声]ボタンと[字幕]ボタンを使います。詳しい説明は[➡ 47 ～ 48ページ]にあります。

言語コード一覧表

言語名	言語コード
アファル語	4747
アブバジア語	4748
アフリカーンス語	4752
アムハラ語	4759
アラビア語	4764
アッサム語	4765
アイマラ語	4771
アゼルバイジャン語	4772
バジキール語	4847
ベラルーシ語	4851
ブルガリア語(BUL)	4853
ビハーリー語	4854
ビスラマ語	4855
ベンガル語、バングラ語	4860
チベット語	4861
ブルトン語	4864
カタロニア語	4947
コルシカ語	4961
チェコ語	4965
ウェールズ語	4971
デンマーク語(DAN)	5047
ドイツ語※	5051
ブータン語	5072
ギリシャ語(GRE)	5158
英語※	5160
エスペラント語	5161
スペイン語※	5165
エストニア語	5166
バスク語	5167
ペルシャ語	5247
フィンランド語(FIN)	5255
フィジー語	5256
フェロー語	5261
フランス語※	5264
フリジア語	5271
アイルランド語(IRI)	5347
スコットランドゲール語	5350
ガルシア語	5358
グアラニ語	5360
グジャラート語	5367
ハウサ語	5447
ヒンディ語	5455
クロアチア語	5464
ハンガリー語(HUN)	5467
アルメニア語	5471

言語名	言語コード
国際語	5547
国際語	5551
イヌピック語	5557
インドネシア語	5560
アイスランド語(ICE)	5565
イタリア語※	5566
ヘブライ語	5569
日本語※	5647
イディッシュ語	5655
ジャワ語	5669
グルジア語	5747
カザフ語	5757
グリーンランド語	5758
カンボジア語	5759
カンナダ語	5760
韓国語※	5761
カシミール語	5765
クルド語	5767
キルギス語	5771
ラテン語	5847
リンガラ語	5860
ラオス語	5861
リトアニア語	5866
ラトビア語、レット語	5868
マダガスカル語	5953
マオリ語	5955
マケドニア語	5957
マラヤーラム語	5958
モンゴル語	5960
モルダビア語	5961
マラータ語	5964
マレー語	5965
マルタ語	5966
ミャンマー語	5971
ナウル語	6047
ネパール語	6051
オランダ語※	6058
ノルウェー語(NOR)	6061
プロバンス語	6149
アファン語（オロモ語）	6159
オリヤー語	6164
パンジャブ語	6247
ポーランド語	6258
パシュトー語	6265
ポルトガル語(POR)	6266

言語名	言語コード
ケチュア語	6367
ラエティ=ロマン語	6459
キルンディ語	6460
ルーマニア語(RUM)	6461
ロシア語※	6467
キニャルワンダ語	6469
サンスクリット語	6547
シンド語	6550
サンゴ語	6553
セルビアクロアチア語	6554
シンハラ語	6555
スロバキア語(SLO)	6557
スロベニア語	6558
サモア語	6559
ショナ語	6560
ソマリ語	6561
アルバニア語	6563
セルビア語	6564
シスワティ語	6565
セストゥ語	6566
スンダ語	6567
スウェーデン語(SWE)	6568
スワヒリ語	6569
タミール語	6647
テルグ語	6651
タジク語	6653
タイ語	6654
ティグリニャ語	6655
トゥルクメン語	6657
タガログ語	6658
セツワナ語	6660
トンガ語	6661
トルコ語(TUR)	6664
ツォンガ語	6665
タタール語	6666
トウィ語	6669
ウクライナ語	6757
ウルドゥ語	6764
ウズベク語	6772
ベトナム語	6855
ボラピュク語	6861
ウォロフ語	6961
コーサ語	7054
ヨルバ語	7161
中国語※	7254
ズール語	7267

「※」のついている言語は、[音声]ボタンまたは[字幕]ボタンを押したとき、画面上にそのまま表示されます。
また、(　)で示されている言語は(　)通り、それ以外の言語は“－－－”で表示されます。

ディスプレイ（映像設定）

再生中の場合、
□停止 を押します。

1
セットアップ
を押す
- 「簡単設定」画面が表示されます。

2
◀/▶ を押して"詳細設定"を選択し、決定 を押す
- 「詳細設定」画面が表示されます。

3
◀/▶ を押して"ディスプレイ"を選び、決定 を押す
- 手順3～4で1つ前のメニューに戻る場合は、リターン/戻る を押します。

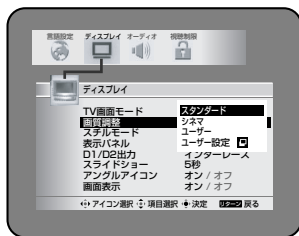
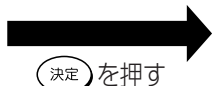
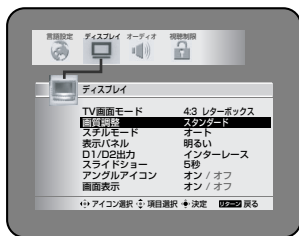
4
▲/▼ を押してそれぞれの項目を選び、決定 を押す

TV画面モード（初期設定：4:3 レターボックス） 簡単設定

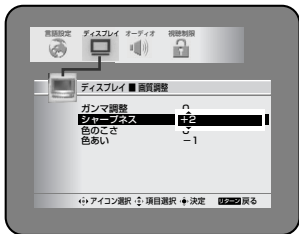
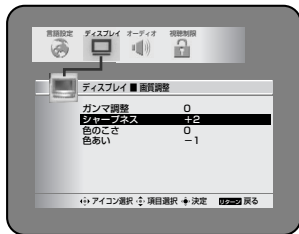
4:3 レターボックス ：通常のテレビで、ワイド画像を横長のまま表示して画面の上下に帯が入ります。
4:3 パンスキャン ：通常のテレビで、ワイド画像の一部をカットして画面全体に表示します。
16:9ワイド ：ワイドテレビまたはワイドモードのある通常テレビで見る場合に選びます。
16:9ノーマル ：［16:9ワイド］にすると通常サイズ（4:3）の映像が横長になり、そのときの画面サイズをテレビ側では切り換えることができない場合に選びます。

決定 を押す

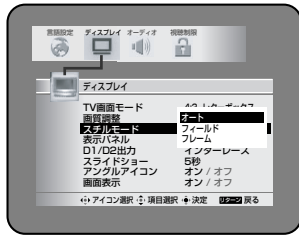
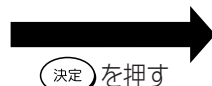
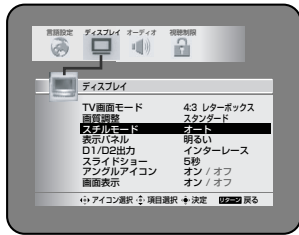
▲/▼ を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

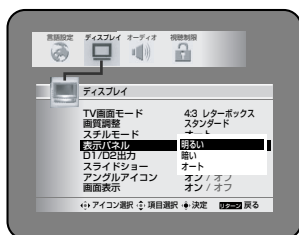
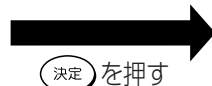
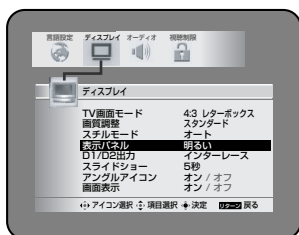
画質調整（初期設定：スタンダード）
表示する映像を見やすく設定します。
スタンダード ：映像の補正を行わずに再生します。
シネマ ：暗部の階調を補正して、映画の暗いシーンなどを見やすく再生します。
ユーザー ：ガンマ調整、シャープネス、色のこさ、色あいを「画質ユーザー設定」で設定した値に調整します。
ユーザー設定 ：画質ユーザー設定画面を表示します。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

画質ユーザー設定（[画質調整]で[ユーザー設定]を選択すると以下の設定をすることができます。初期設定：すべて0）
ガンマ調整 ：映像の中間明度を調整します。(－1、0、+1、+2)
シャープネス ：映像の鮮鋭度（解像感）を調整します。(－2、－1、0、+1、+2)
色のこさ ：映像の色の濃さを調整します。(－2、－1、0、+1、+2)
色あい ：映像の色合いを調整します。(－2、－1、0、+1、+2)

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

▲/▼を押して選択したい数値を選び、決定を押す

[リターン/戻る]ボタンを押すと[画質調整]画面に戻り、設定が[ユーザー]になります。

スチルモード（初期設定：オート）
一時停止時の画質を設定します。
オート ：通常はこの設定を選びます。
フィールド：オートに設定しても画像がブレるときに設定します。[フィールド]を選択すると、情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレません。
フレーム ：動きのない画像を特に高解像度で一時停止させたいときに選びます。[フレーム]を選択すると、画質は良くなりますが、2枚のフィールドを同時に出力させるため、画像がブレることがあります。

▲/▼を押して選択したい数値を選び、決定を押す

表示パネル（初期設定：明るい）
本体表示パネルの表示輝度を調整します。
オート：再生中のみ暗くなります。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定を押す

- DVDディスクによっては、[TV画面モード] で設定したモードとは違う画面になることがあります。
- DVDディスク側で4:3レターボックスなどに指定されているときは、本機の [TV画面モード] で設定したモードとは違う画面になることがあります。

次ページへ続きます。

D1/D2出力（初期設定：インターレース） 簡単設定
プログレッシブスキャンの方式を選びます。
プログレッシブスキャンの説明は[➡ 19ページ]をご覧ください。

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

スライドショー（初期設定：5秒）
JPEG再生時のスライドショー時間を設定します。
5秒　　：約5秒ごとに画像が切り換わります。
10秒　　：約10秒ごとに画像が切り換わります。
トラック　：MP3とJPEGを同時に再生しているときは、MP3の切り換わりにあわせて画像が切り換わります。
[デュアル再生]を[オン]にしてJPEGのみを再生しているときは、5秒ごとに画像が切り換わります。
([トラック]は[デュアル再生]を[オン]に設定している場合のみ表示されます。)

▲/▼を押して選択したい項目を選び、決定 を押す

アングルアイコン（初期設定：オン）
画面上にアングルアイコンを表示／非表示します。

画面表示（初期設定：オン）
画面上に再生マークなどの操作時の表示を表示/非表示します。

5 セットアップ を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。
- この時点でD1/D2出力の設定は有効になります。

オーディオ（音声設定）

再生中の場合、 □停止 を押します。

1

セットアップ ▭ を押す

● 「簡単設定」画面が表示されます。

2

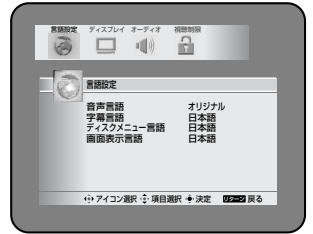
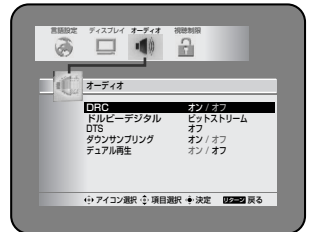
◀/▶ を押して“詳細設定”を選択し、決定 を押す

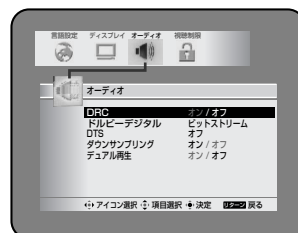
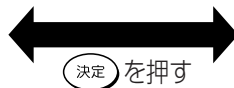
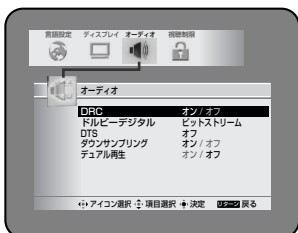
● 「詳細設定」画面が表示されます。

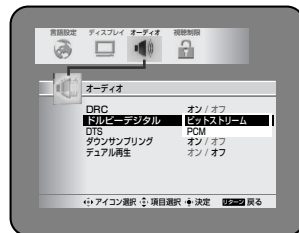
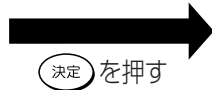
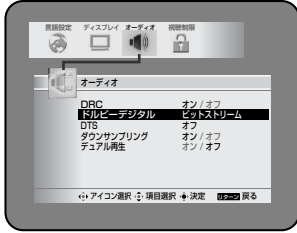
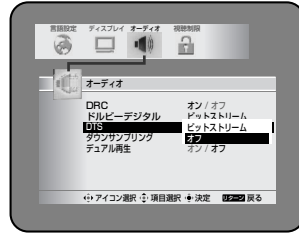
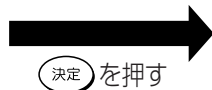
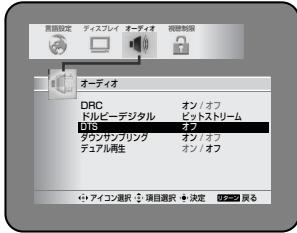
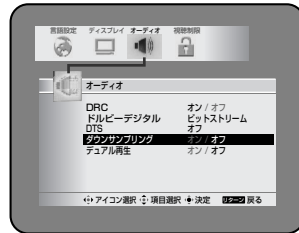
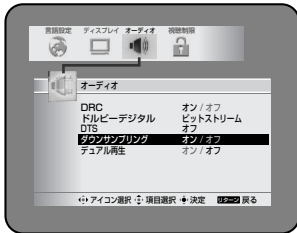
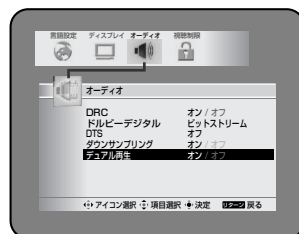
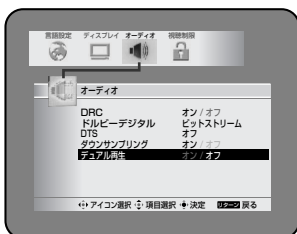
3

◀/▶ を押して“オーディオ”を選び、決定 を押す

● 手順3～4で1つ前のメニューに戻る場合は、 リターン/戻る を押します。

4

▲/▼ を押して項目を選び、決定 を押す

DRC（初期設定：オン）
オン：再生時音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調整し、大きな音を小さく、小さな音を大きくします。
夜間の映画鑑賞や会話が聞きづらいときに使うと効果があります。
● この機能はドルビーデジタルで録音した音声の場合のみ有効です。

次ページへ続きます。

ドルビーデジタル（初期設定：ビットストリーム） 簡単設定
ビットストリーム：ドルビーデジタルデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
PCM　　　　　　：ドルビーデジタルに対応しないアンプと接続したときに選びます。

DTS（初期設定：オフ） 簡単設定
ビットストリーム：DTSデコーダーを搭載したアンプとデジタル接続したときに選びます。
オフ　　　　　　：DTSに対応しないアンプと接続したときに選びます。このとき、DTS音声は出力されません。

ダウンサンプリング（初期設定：オン）
デジタル端子接続時、96kHzのPCMで録音されたデジタル音声信号を48kHzに変換する/しないを設定します。
また、96kHzの高音質で楽しむためには96kHzに対応したアンプに接続する必要があります。
オン：96kHzに対応していないアンプまたはデコーダーと接続したときに選びます。96kHzで録音された信号を常に48kHzに変換して出力します。
オフ：デジタル端子から96kHzで出力されますが、ディスクのコピーガード機能がはたらいているときは、96kHzで録音された信号を48kHzに変換して出力します。

デュアル再生（初期設定：オフ）
オン：MP3とJPEGを同時に楽しみたい場合に選びます。
オフ：MP3とJPEGを別々に楽しみたい場合に選びます。

5 セットアップ を押す

● 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言！
● 「ディスプレイ」（映像設定）の[スライドショー]表示時間設定が、[5秒]または[10秒]であっても、JPEGファイルの容量が大きいと、表示時間が長くなる場合があります。

視聴制限

再生中の場合、 ▢停止 を押します。

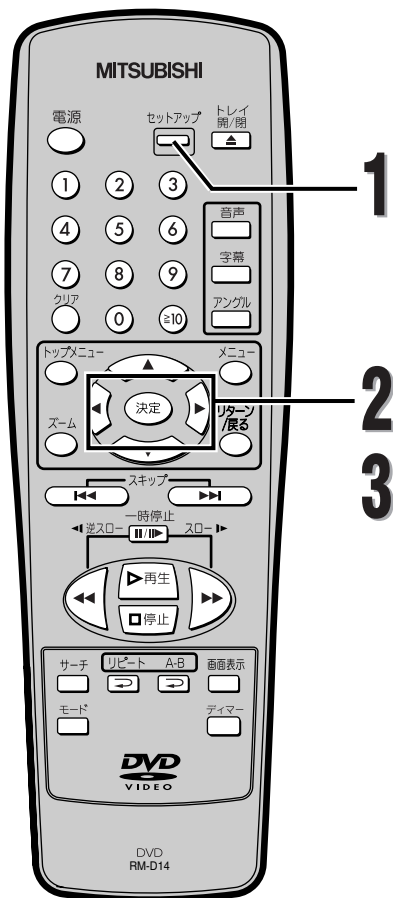
1

セットアップ ▭ を押す

- 「簡単設定」画面が表示されます。

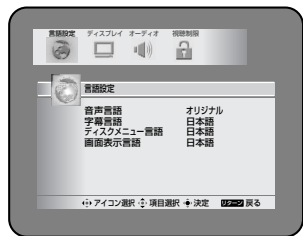
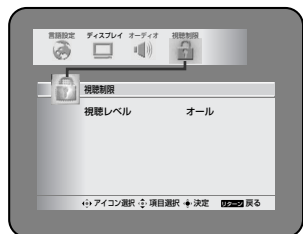
2

◁/▷ を押して"詳細設定"を選択し、

決定 を押す

- 「詳細設定」画面が表示されます。

3

◁/▷ を押して"視聴制限"を選択し、

決定 を押す

- 手順3〜4で1つ前のメニューに戻る場合は、 リターン/戻る を押します。

ちょっと一言!

視聴制限（パレンタル）について

- DVDビデオソフトによっては、暴力シーンなど子供に見せたくない内容を再生できないように、視聴の制限ができます。視聴できるレベルは、DVDビデオソフトによって異なります。
- 本機の視聴制限を設定すると、パスワードを入力しない限り、視聴制限を解除したり視聴レベルを変更することができなくなります。

次ページへ続きます。

4 数字ボタンを押して4桁のパスワードを入力する

- 最初に設定をするとき、任意の4桁の数字を入力し、(決定)を押します。
  この数字は次回からパスワードとして使用されます。忘れないようにご注意ください。
- パスワードを入力して視聴レベルとパスワード設定を変更することができます。
- 「4737」をパスワードにすることはできません。

5 (▲)/(▼)押して項目を選び、(決定)を押す

パスワード変更を選択した場合

- パスワード変更を選択した場合、数字ボタンで4桁のパスワードを入力し、(決定)を押します。

視聴レベルを選択した場合

- (▲)/(▼)を押してオールまたは8～1の項目を選び、(決定)を押します。

(オール)
視聴制限をオフ状態にします。

(レベル 8)
どのレベルのDVDビデオソフト（成人、一般、子供）でも再生できます。

(レベル7 から 2)
一般用と子供向けのDVDビデオソフトのみ再生できます。

(レベル1)
子供用のDVDビデオソフトのみ再生できます。成人向け、一般用のビデオソフトは利用できません。

6 セットアップ(ボタン)を押す

- 設定を完了し、通常の画面が表示されます。

ちょっと一言!

- 設定した方法で、視聴制限が作動するか確認してください。
- パスワードを忘れないように、どこかに書きとめておいてください。
- リジューム機能の情報が保持されている状態で、視聴レベルを変更したいときは、リジューム機能の情報は解除されます。

パスワードを忘れたとき

手順4で数字ボタンを[4] [7] [3] [7]の順に押すと、すでに入力されていたパスワードが解除されます。

故障かな？と思ったときは

ここをお調べください

この取扱説明書にそって操作しても正常に働かないときは、下記を参照しながら点検してください。
点検されても直らないときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

症状	原因	処置	参照ページ
電源が入らない	※電源プラグがはずれている ※停電で電源が切れている	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込む ●安全保護装置が働いていることがあるので、1度電源プラグをコンセントから抜き、再びコンセントに差し込んで電源を入れてください	―― ――
リモコンで操作できない	※リモコンがプレーヤーの受光部に向いていない ※リモコンとプレーヤーが離れすぎている ※リモコンとプレーヤーの受光部の間に障害物がある ※リモコンの電池が消耗している	●リモコンをこのプレーヤーの受光部に向ける ●7m以内の所で操作する ●障害物を取り除く ●電池を交換する	―― ―― ―― 16
画像がでない	※映像コードがはずれている ※違う種類のディスクが入っている ※コピーガード機能が働いている ※D1/D2出力がプログレッシブになっている（表示部に“P.SCAN”が点灯している）	●映像コードをしっかり接続する ●DVD（リージョン番号2、ALL）、音楽用CD、MP3、WMA、JPEGファイルで記録されたディスク以外のものが入っていないか確認する ●本機とテレビを直接接続する ●D1のみ対応のテレビとD端子で接続しているときは、[D1/D2出力]を[インターレース]にしてください	18 11～12 19 19
再生が始まらない	※結露が発生している ※ディスクが入っていない ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクが汚れている ※視聴制限が有効になっている	●電源プラグをコンセントへ差し込み、通電状態で最低2時間乾燥するまで放置する ●ディスクを入れる ●ディスクのラベル面を上にして、正しく入れ直す ●ディスクを清掃する ●視聴制限を解除するか、視聴レベルを変更する	8 22 22 8 67～68
音声がでない	※音声コードがはずれている ※音声出力の選択が正しくない ※音声接続をしている機器の電源が入っていない ※音声接続をしている機器の入力切換が正しくない ※DTS音声を再生している	●音声コードをしっかり接続する ●音声出力の選択を正しく行う ●音声接続をしている機器の電源を入れる ●音声接続をしている機器の入力切換を正しく行う ●DTS音声はアナログ出力端子からは出力されません	18～21 65～66 ―― ―― 21
マルチチャンネルドルビーサラウンドにならない	※間違ったケーブルを使用している	●マルチチャンネルドルビーサラウンドを楽しむには、同軸デジタルケーブルを使用し、マルチチャンネルドルビーデジタル対応アンプやデコーダーとの接続が必要です	20～21
映像が乱れる	※コピーガード機能が働いている ※早送り、早戻しをした直後である ※携帯電話など電波を発生する機器を近くで使用している	●本機とテレビを直接接続する ●画像が多少乱れることがありますが、故障ではありません ●本機から離して使用する	19 ―― 23
セットアップで選んだ音声言語、字幕言語にならない	※DVDディスクにセットアップで選んだ音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	12
アングルを変えて見ることができない	※DVDディスクに複数のアングルが記録されていない	●DVDディスクに複数のアングルが記録されているか確認する	12
音声言語、字幕言語の切り換えができない	※DVDディスクに複数の音声言語、字幕言語が記録されていない	●DVDディスクにその音声言語や字幕言語が記録されているか確認する	12
テレビ画面に“⊘”が表示され、操作できない	※このプレーヤーまたはディスクがその操作を禁止しています	●故障ではありません	23
再生中に画像が動かなくなる	※ディスクがDVDディスクの仕様を満たしていない ※ディスクが汚れている ※ディスクにキズがある ※2層ディスクが1層から2層に切り換わった	●[停止]ボタンを押してから、[再生]ボタンを押してみる ●ディスクを清掃する ●キズのないディスクと取り替えて再生する ●映像が一瞬止まることがありますが、故障ではありません	―― 8 ―― 22
勝手に電源が切れる	※再生一時停止約30分またはスクリーンセーバー起動後約25分間経過すると、自動的に電源「切」状態になります	●再度、電源を入れ直す	――
" --ディスクを取り出してください。-- 対応していないディスクが入っているか、キズや汚れのため再生できません。" と画面表示される	※再生できないディスクが入っている ※ディスクが汚れている ※ディスクが裏返しに入っている ※ディスクにキズがある	●再生できるディスクを入れる ●ディスクを清掃する ●ディスクのラベル面を上にして正しく入れ直す ●キズのないディスクと取り替えて再生する	11～12 8 22 8
" リージョンエラー --ディスクを取り出してください。-- この地域での再生は禁止されています。" と画面表示される	※リージョン番号「2」または「ALL」以外のディスクが入っている	●リージョン番号「2」または「ALL」のディスクを入れる	11～12
" 視聴制限エラー 現在の視聴制限設定では再生が制限されています。"と画面表示される	※視聴制限の設定が有効になっている	●視聴制限の設定を変更する	67～68

ちょっと一言！

- 機能によっては一部の操作状態で利用できないことがありますが、これは故障ではありません。正しい操作方法については、本文の説明をよくお読みください。
- ディスクにより音量が異なることがありますが、ディスクの記録方式の違いによるもので故障ではありません。
- 市販のソフト（ディスク）によっては再生に支障をきたす場合があります。その場合は、三菱電機 ご相談窓口にご相談ください。

追加説明

用語の解説

用語	説明
CPRM	Content Protection for Recordable Media CPRMとは、「1回だけ録画可能」番組に対してスクランブルをかけて録画する著作権保護システムです。
D1/D2映像出力端子（D端子）	デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号です。D映像入力端子やコンポーネント映像入力（Y、P_B/C_B、P_R/C_R）端子でテレビと接続することにより、よりきれいな映像が楽しめます。
DRC	音声の強弱の幅（ダイナミックレンジ）を調節します。DRCオン/オフを切り換えることによって、テレビの会話などが聞きづらいときや、深夜に映画を見るようなときに効果があります。
DTS	Digital Theater Systemの略です。デジタルシアターシステムズ社が開発したデジタル音声システムです。音声6chを使って、正確な音場定位と臨場感のある音響効果が得られます。DTS対応プロセッサやアンプとの接続で映画館のような音声が楽しめます。ドルビーデジタルとは異なるサラウンドシステムです。
JPEG	Joint Photographic Experts Groupの略です。静止画像ファイルの圧縮形式のひとつで、不可逆圧縮方式となっています。 ファイルの拡張子は、「.jpg」「.jpeg」となります。
MP3	MPEG1 Audio Layer-3の略です。音声圧縮方式のひとつで、データを1/10以下に圧縮することができます。ファイルの拡張子は「.mp3」となります。
MPEG	Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。DVD映像はこの方式で記録されています。
WMA	Windows Media Audioの略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。ファイルの拡張子は「.wma」となります。
拡張子	OSやアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと3文字のアルファベットで構成されています。
黒レベル（設定）	暗部の階調を補正し、暗いシーンでも見やすくする機能です。
視聴制限（パレンタルレベル）	DVDディスクの中には、ディスクを見るための規制レベルが設定されているものがあります。ディスクを再生したときの規制レベルを本機は設定することができます。
ズーム	テレビ画面で見ている映像の一部を、拡大表示する機能です。
セットアップ（簡単設定、詳細設定）	本機でディスクを再生して楽しむため、映像出力設定や視聴制限（パレンタルレベル）などを設定します。
タイトル	DVDビデオディスクに複数の映画が入っているときなど、各映画の題名（タイトル）などをいいます。
ダイナミックレンジ	ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。デシベル（dB）単位で測定されます。ダイナミックレンジを圧縮する（オーディオDRC）と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

用語の解説

用語	説明
チャプター	タイトルの中にある章をチャプターといいます。
ディスクメニュー	DVDビデオディスクに記録されているメニューで、字幕の言語や吹き替え音声などを選ぶことができます。
ディマー	本体の表示部の明るさを変更する機能です。
デュアル再生	MP3とJPEGを同時に楽しめる機能です。
トップメニュー	DVDビデオディスクで、再生するチャプターや字幕の言語などを選ぶメニューのことです。トップメニューを「タイトル」と呼ぶものもあります。
トラック	音楽用CDの各曲をトラックといいます。
ドルビーデジタル（マルチチャンネルサラウンド）	ドルビーラボラトリーズが開発した立体音響効果のことです。5.1ch等の独立したマルチチャンネルオーディオシステムです。このシステムは、映画館にサラウンドシステムとして採用されているドルビーデジタルと同一のシステムです。ドルビーデジタル（マルチチャンネルサラウンド）を楽しむには、本機のデジタル出力端子とドルビーデジタル対応アンプやデコーダーのデジタル入力端子を接続することが必要です。
バーチャルサラウンド	バーチャル（疑似）サラウンドを楽しむことができます。
ピックアップレンズ	ディスクに記録されている信号を、光学的に読み取る部分のことです。
ビットレート	ディスクに記録された映像・音声のデータを1秒間に読み込む量をあらわします。
マルチアングル	同じ画像を角度を変えて撮影したものを、一枚のディスクに収録し、アングルを変えて再生画像を楽しめます。
リジューム	ディスクの再生中に一度停止すると、停止した位置を本機がメモリーし、停止した位置から続けて再生することができる機能です。
リニアPCM	Pulse Code Modulationの略でデジタル音声のことをいいます。リニアPCMとは圧縮していないPCM信号です。CDの音声と同じ方式ですが、DVDの場合、サンプリング周波数が48kHzや96kHzで記録されており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。
リージョン番号（再生可能地域番号）	DVDは、地域に合わせて再生できるソフトが決められています。その再生できるディスクの番号をリージョン番号といいます。
プログレッシブ	コンポーネント映像出力（D端子）で画像を再生するとき、ちらつきを少なくし、高画質の映像で再生します。
4:3パンスキャン	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したときに、再生画像の左右をカットし4：3のサイズにする機能です。 テレビ画面
4:3レターボックス	4：3のテレビと本機を接続しワイド（16：9）ディスクを再生したとき、上下に黒い帯のある画像で再生される機能です。 テレビ画面

さくいん

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

英数字

仕　　様

項目		仕様
形　式		DVDビデオ、音楽用CD、MP3、WMA、JPEG
使用ディスク		11ページを参照
出力信号方式		NTSCカラー方式
周波数特性		DVD（リニア音声） 20Hz〜22kHz（48kHzサンプリング周波数） 20Hz〜44kHz（96kHzサンプリング周波数） 音楽用CD 20Hz〜20kHz (JEITA)
信号対雑音比（S／N比）		CD：120dB (JEITA)
ダイナミックレンジ		DVD(リニア音声): 93dB、CD：88dB (JEITA)
総合ひずみ率		CD：0.01%　DVD：0.01%
ワウ・フラッター		測定限界（±0.001%　W　PEAK）以下
端　子	S映像出力	ミニDIN 4pin (75Ω) （C）0.286 V(p-p) (75Ω)
	映像出力	ピンジャックX1　1V(p-p) (75Ω)
	コンポーネント映像出力	D1/D2出力端子×1
	同軸デジタル音声出力	ピンジャック×1
	アナログ音声出力	ピンジャックX2（左チャンネルX1、右チャンネルX1） 2V(rms) (47kΩ)
電　源		AC100V/50Hz,60Hz
消費電力		**約10W（待機時: 約0.8W）**
許容温度範囲		5℃〜40℃
許容湿度範囲		80%以下
寸　法		435mm（幅）x 51mm（高さ）x 211mm（奥行）
質　量		約1.3kg

仕様および外観は、改良のため予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

保証書（別添付）

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間は、お買上げ日から１年間です

補修用性能部品の保有期間

当社は、DVDプレーヤーの補修用性能部品を、製造打切り後8年間保有しています。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口・ご相談窓口」にご相談ください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったときは」の手順にしたがって、お調べください。
それでも不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いて、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口」にご連絡ください。

保証期間中は
製品と保証書をご持参の上、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口」にご依頼ください。
(本機の内部に異物を入れて故障したときや、接続などに関しては、保証期間中でも有料修理になります。)

保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
料金などについては、お買上げの販売店かお近くの「三菱電機修理窓口」にご相談ください。

修理料金は
技術料・部品代などで構成されています。

接続をはずしたコードには、あとで簡単に接続できるように、接続する端子の名前を書いた紙などを貼り付けておくことをおすすめします。

放送方式、電源電圧の異なる海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。
This unit is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

三菱電機 修理窓口・ご相談窓口のご案内（家電品）

修理・取扱いのご相談は
まず **お買上げの販売店へ**

転居や贈答品などでお買上げの販売店へご依頼できない場合は

お問合わせ窓口におけるお客さまの個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客さまからご提供いただきました個人情報を、下記のようにお取り扱いします。

1. お問合わせ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事、および製品のお取り扱いに関連してお客さまよりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質やサービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のために、お問合わせ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客さまからご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ① 上記利用目的のために、当社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
   ② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合わせをいただきました窓口にご連絡ください。

保証とアフターサービス

修理窓口 電話受付：365日 24時間

北海道・東北地区

北海道全域、宮城県

東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(03) 3424-1111
FAX	(03) 3424-1115
インターネット	www.melsc.co.jp

地区	電話番号	住所
青森	(017) 773-8381	青森市大字野木字野尻 37-184
八戸	(0178) 28-8544	八戸市大字長苗代字下亀子谷地 6-8
盛岡	(019) 637-7454	盛岡市羽場13地割 30-11
水沢	(0197) 25-4511	奥州市水沢区卸町 2-3
秋田	(018) 865-4471	秋田市八橋三和町 19-36
横手	(0182) 32-1785	横手市卸町 3-2
大館	(0186) 42-2781	大館市餅田 2-5-44
山形	(023) 624-0018	山形市大野目 2-1-21
鶴岡	(0235) 24-6161	鶴岡市上畑町 5-4
郡山	(024) 959-6543	郡山市喜久田町卸 1-76-1
会津	(0242) 27-4426	会津若松市天神町 25-39
原町	(0244) 24-2842	南相馬市原町区桜井町 1-173
いわき	(0246) 26-1822	いわき市小島町 1-2-2

関東・甲信越地区

東京都、神奈川県、千葉県、茨城県、埼玉県、栃木県、群馬県、山梨県、長野県(飯田地区除く)、新潟県、静岡県

東日本フロントセンター 東京都世田谷区池尻 3-10-3

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(03) 3424-1111
FAX	(03) 3424-1115
インターネット	www.melsc.co.jp

関西・東海・北陸・中国・四国地区

大阪府、奈良県、兵庫県、京都府、和歌山県、滋賀県、愛知県、三重県、岐阜県、長野県(飯田地区)、石川県、富山県、福井県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、岡山県、香川県、徳島県、高知県、愛媛県

西日本フロントセンター 大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(06) 6454-3901
FAX	(06) 6454-3900
インターネット	www.melsc.co.jp

九州地区

福岡県、佐賀県

西日本フロントセンター 大阪市北区大淀中 1-4-13

フリーダイヤル	0120-56-8634
通常電話番号(携帯電話対応)	(06) 6454-3901
FAX	(06) 6454-3900
インターネット	www.melsc.co.jp

地区	電話番号	住所
長崎	(095) 834-1116	長崎市丸尾町 4-4
佐世保	(0956) 30-7740	佐世保市木原町 155-1
熊本	(096) 380-0211	熊本市石原 1-10-35
八代	(0965) 33-5173	八代市緑町 13-1
大分	(097) 558-8803	大分市向原西 1-8-1
宮崎	(0985) 56-4900	宮崎市大字赤江字飛江田 150-1
延岡	(0982) 21-3540	延岡市惣領町 25-5
鹿児島	(099) 260-2421	鹿児島市卸本町 7-17
沖縄	(098) 898-3333	宜野湾市大山 7-12-1

ご相談窓口

当社家電品の購入・取扱い方法・その他ご不明な点は

三菱電機お客さま相談センター

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

■ 全国どこからでもおかけいただけるフリーコール
0120-139-365 (無料)
いつも サンキュー 365日

■ 通常電話番号(携帯電話対応) (03) 3414-9655
■ FAX (03) 3413-4049

受付時間365日 24時間	■ ご相談対応 平日 9：00～19：00 土・日・祝 9：00～17：00	(これ以外の時間は受付のみ可能です)

● 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。

B5-VK06B-P

本機の修理・取扱いのご相談は ⇒ お買上げの販売店へ

転居や贈答品などで、お買上げの販売店へご依頼できない場合は
・修理のお問合わせは ⇒「修理窓口」へ
・その他のお問合わせは ⇒「ご相談窓口」へ フリーダイヤル 0120-139-365

ご相談対応時間など、くわしくは「保証とアフターサービス」をごらんください。

愛情点検	●長年ご使用のDVDプレーヤーの点検をぜひ！	（熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。）
	このような症状はありませんか ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●コゲくさい臭いがする。 ●製品に触れるとビリビリと電気を感じる。 ●電源スイッチを入れても、映像や音声がでない。 ●その他の異常・故障がある。	➡ ご使用中止 故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

DVDプレーヤーの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

ご購入店などをメモしておくと、あとで役に立ちます。

形　名	DJ-P270	お買い上げの販売店	
お買い上げ日		(電話番号)	(　　　)　　　–

京都製作所　〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所1番地

Printed in China
E6E30JD / 1VMN23427 ★★★★★